

令和7年度実施  
(2025年度実施)

卒業生アンケート調査報告書

令和7年(2025年) 12月  
別府大学短期大学部 FD委員会

## はじめに

別府大学短期大学部では、教育の充実と改善に役立てるため、本学卒業生を対象とした卒業生アンケートを実施し、その結果を公開しています。

アンケートの設問は、ディプロマ・ポリシーの①教養(人間性の形成に資する幅広い知識, 技能), ②専門力(専門に関する基本的な知識, 技能), ③汎用力(社会で活躍できる汎用性のある能力)を中心とし、その他、本学の教育改善について自由な意見を幅広く回答いただいています。

令和 7 年度の調査では、2022 年度・2020 年度卒業生の卒業生を対象とし、96 件の回答(未回答の設問あり)が寄せられました。卒業生の皆様から頂いた貴重な意見に基づき、本学の教育の見直しと改善にむけた検討を進めてまいります。

最後になりますが、このアンケートに参加いただき、貴重なご意見をいただいた卒業生の皆様に感謝申し上げます。

別府大学短期大学部 FD 委員会

はじめに

目次

<u>「卒業生・雇用主アンケート調査」実施要領</u> .....	1
卒業生アンケート調査結果	
(1)食物栄養科調査結果 .....	2
(2)初等教育科調査結果 .....	9
別府大学短期大学部アセスメント・ポリシー」に基づく卒業生・雇用主アンケートの結果による DP 達成度評価	
<u>「卒業生・雇用主アンケート」の結果による DP 達成度評価実施要領</u> .....	18
食物栄養科「卒業生アンケート」の結果による DP 達成度評価.....	21
1. 教 養(人間性の形成に資する幅広い知識, 技能) .....	21
2. 専門力(専門に関する基本的な知識, 技能) .....	22
3. 汎用力(社会で活躍できる汎用性のある能力) .....	24
初等教育科「卒業生アンケート」の結果による DP 達成度評価.....	26
1. 教 養(人間性の形成に資する幅広い知識・技能) .....	26
2. 専門力(専門に関する基本的な知識・技能及び態度) .....	27
3. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力) .....	28

別府大学短期大学部 卒業生・雇用主アンケート実施に関する資料

## 別府大学短期大学部 卒業生・雇用主アンケート実施要領

### (目的)

第1条 学生の卒業後の進路・就職状況等から、在学中に身に付けさせる学力や資質・能力及びディプロマ・ポリシーに照らして教育の成果や効果を検証し、教育力の向上や改善に資することを目的とする。

### (所轄部署)

第2条 当該調査に関する所轄部署は、学生事務部(担当部:キャリア支援課)とし、関連部署(FD委員会および就職委員会)と連携して行う。

### (調査対象)

第3条 調査対象は以下の2つとする。

- (1) 本学を卒業した過年度の卒業生
- (2) 卒業生の就職先、学生が就職活動を行っている企業・団体等

### (調査方法)

第4条 調査方法は以下の手順で行う。

- (1) キャリア支援課で送付先を抽出する。
- (2) 質問項目は、FD委員会および就職委員会でディプロマ・ポリシーを反映させ検討・作成する。
- (3) アンケート実施期間は、第2四半期から第4四半期の一定期間(10日間程度)を定め、対象者に送付する。
- (4) 送付方法は、郵送または対象者に届く効果的な方法にて送付する。
- (5) 回収方法は、インターネットやファックス等を用い、対象者が回答しやすい方法にて行う。

### (集計・分析)

第5条 集計及び分析は下記の部署が担当し、企画運営会議へ報告する。

- (1) 卒業生・雇用主アンケートの集計は、キャリア支援課が担当する。
- (2) 卒業生アンケートの分析および報告書作成は、FD委員会が担当する。
- (3) 雇用主アンケートの分析および報告書作成は、就職委員会が担当する。

### (公表)

第6条 企画運営会議は報告に基づき、教授会の儀を経て、年度内に大学ホームページに掲載公表する。

### (その他)

第7条 調査方法や質問事項等については、本調査の目的を逸脱しない範囲で修正、変更等を行う。

以上

### 附 則

この要領は、令和3年4月21日から施行し、令和2年8月1日から適用する。

## 令和7年度卒業生アンケート調査結果 【食物栄養科卒業生】

### (1)食物栄養科調査結果【送付:90人,回収:22人,回収率24.4%】

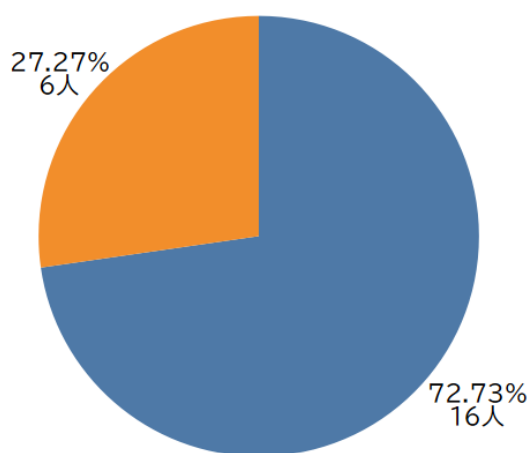
- 調査対象 2022年度卒業生及び2020年度卒業生
- 調査期間 令和7年7月30日(水)～令和7年8月17日(日)

#### I. はじめに基本事項についてお答えください。

問1. あなたの卒業年月をお答えください(22件の回答)。

問1.あなたの卒業年月をお答えください。

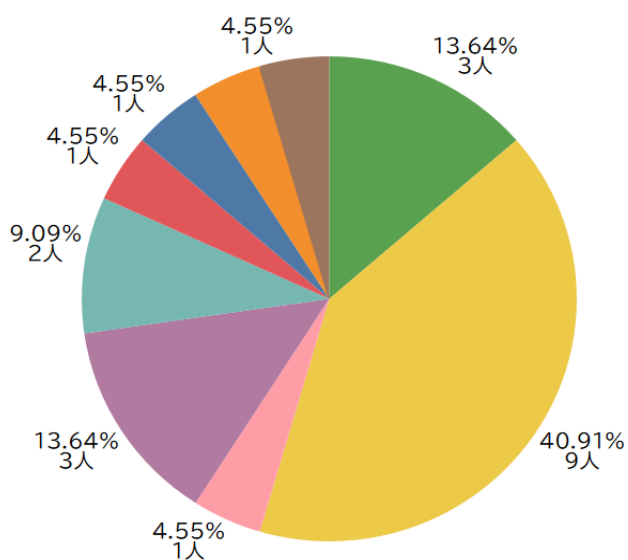
■ 2021年3月  
■ 2023年3月



問2. 現在の職業(職種)をお答えください(22件の回答)。

問2.現在の職業(職種)をお答えください。

■ 栄養士(給食委託業者)  
■ 栄養士(病院、福祉施設、保育園等)  
■ 製造・販売  
■ 事務(受付、窓口業務、経理等)  
■ 飲食店  
■ フライダルキッチンスタッフ(パティシエ)  
■ サービス業  
■ スーパーのお惣菜  
■ 品質管理



II. 別府大学短期大学部食物栄養科で受けた教育について、次の事項に5段階評価でお答えください。

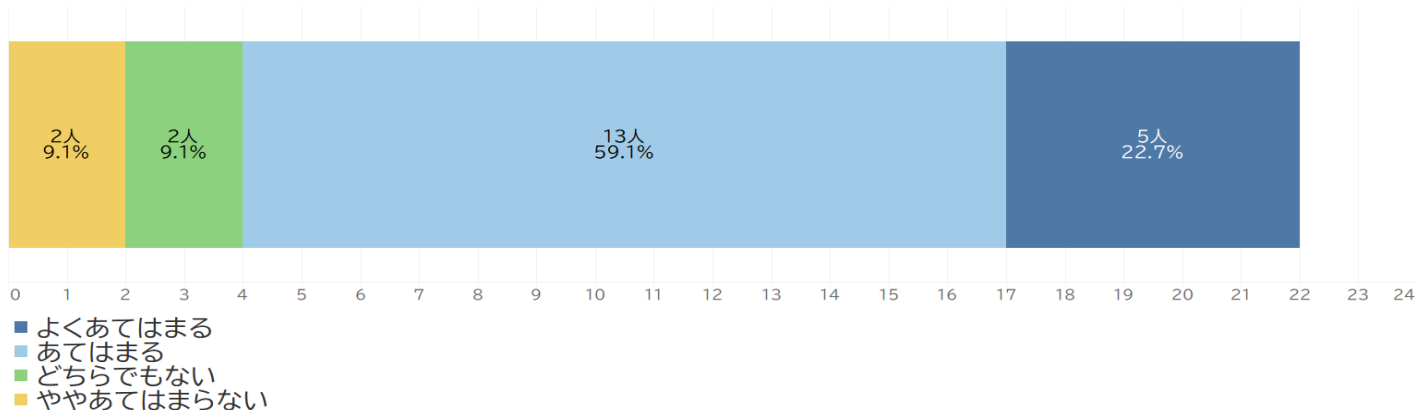
(1.よくあてはまる, 2.あてはまる, 3.どちらでもない, 4.ややあてはまらない, 5.あてはまらないの5段階評価)。

また、各事項に対して特記事項があれば、自由記述欄にご記入ください。

A. 教養力(人間性の形成に資する幅広い知識, 技能)について

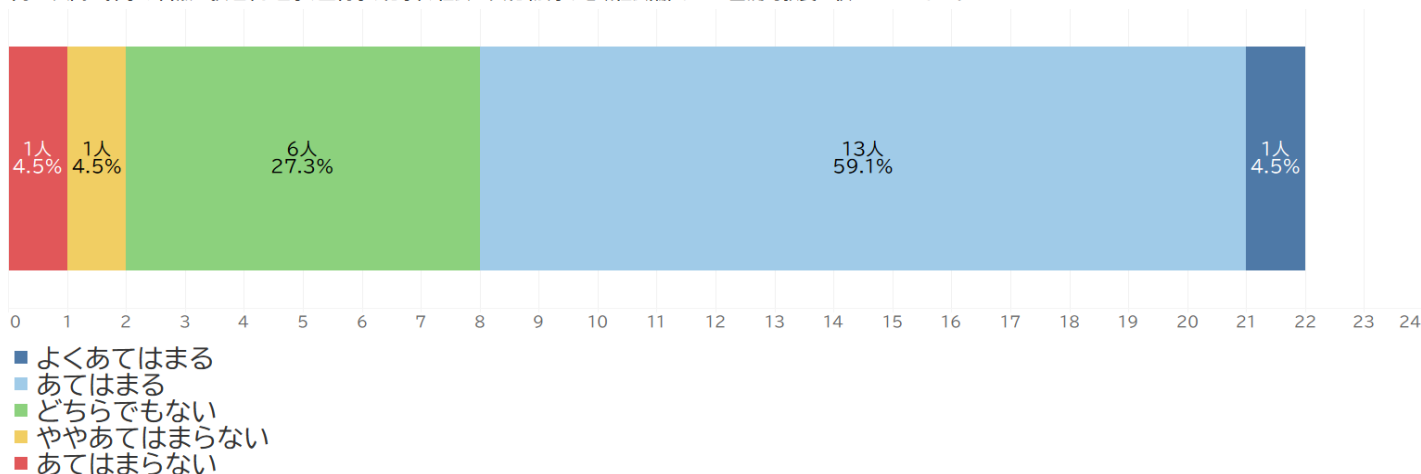
問 3. 短期大学卒業に必要な知識・技能と幅広い思考力・判断力・表現力などの基礎的な教養は役立っているか (22件の回答)。

問3. 短期大学卒業に必要な知識・技能と幅広い思考力・判断力・表現力などの基礎的な教養は役立っているか。



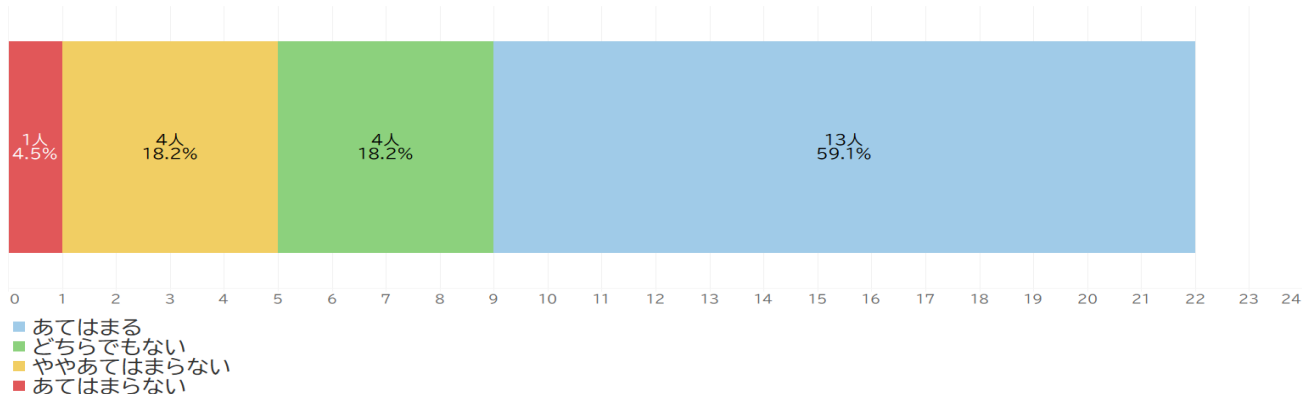
問 4. 人間の探求や自然の摂理(心理学, 生物学, 化学), 社会の文化(法学, 地域社会論)などの基礎的教養は役立っているか(22件の回答)。

問4. 人間の探求や自然の摂理(心理学, 生物学, 化学), 社会の文化(法学, 地域社会論)などの基礎的教養は役立っているか。



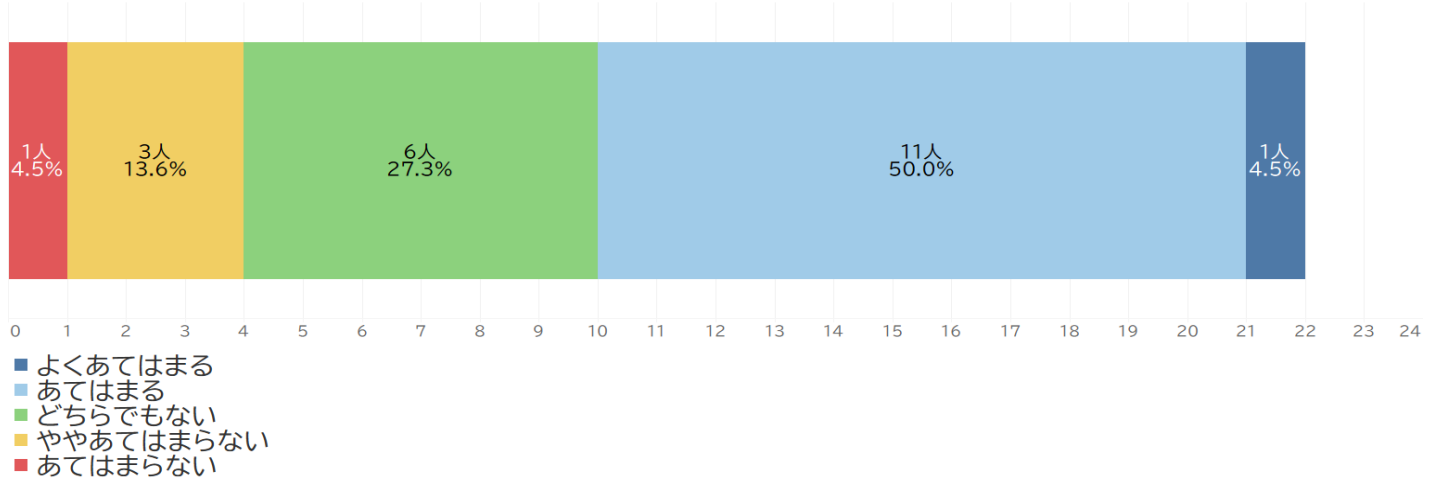
問 5. 情報処理や外国語(情報機器論, 英語)などの基本的なリテラシーは役立っているか(22件の回答)。

問5. 情報処理や外国語(情報機器論, 英語)などの基本的なリテラシーは役立っているか。



問 6. 運動と健康維持・増進などの活動を実践する基本的な技能(保健体育)は役立っているか(22件の回答)。

問6. 運動と健康維持・増進などの活動を実践する基本的な技能(保健体育)は役立っているか。



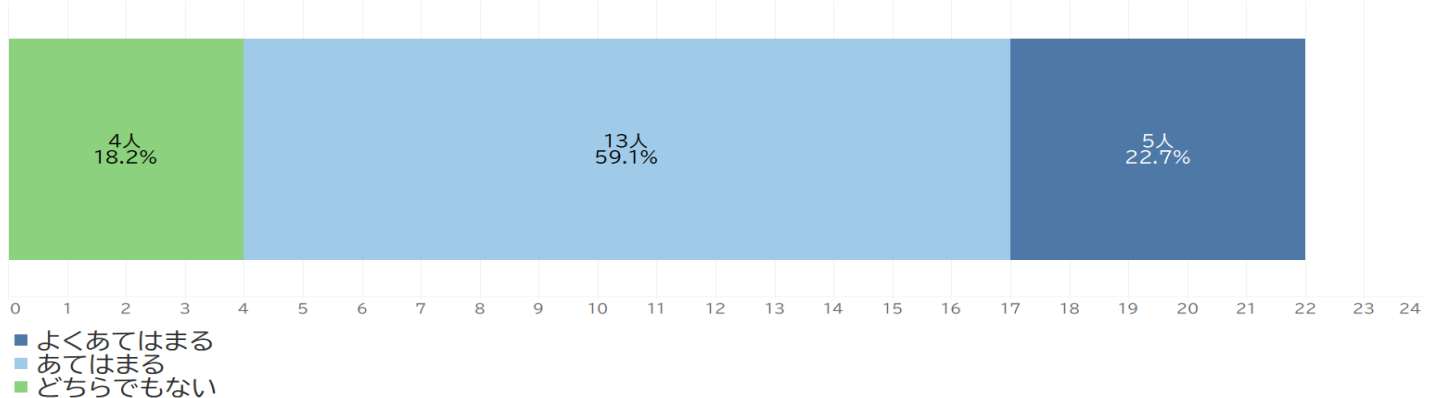
問 7. どのような教養教育が社会に出た後に役立つと思いますか。ご意見を自由にご記入ください(4 件の回答)。

- 社会のマナー
- 言葉マナー、電話対応などの社会人マナーの講習が役に立ったなど、社会人になってとても痛感しております。
- 目上の人への言葉遣いなどのマナー
- 自分や他人の健康状態に関してアドバイスや相談にのれる。

B. 専門力(専門に関する基本的な知識, 技能)について

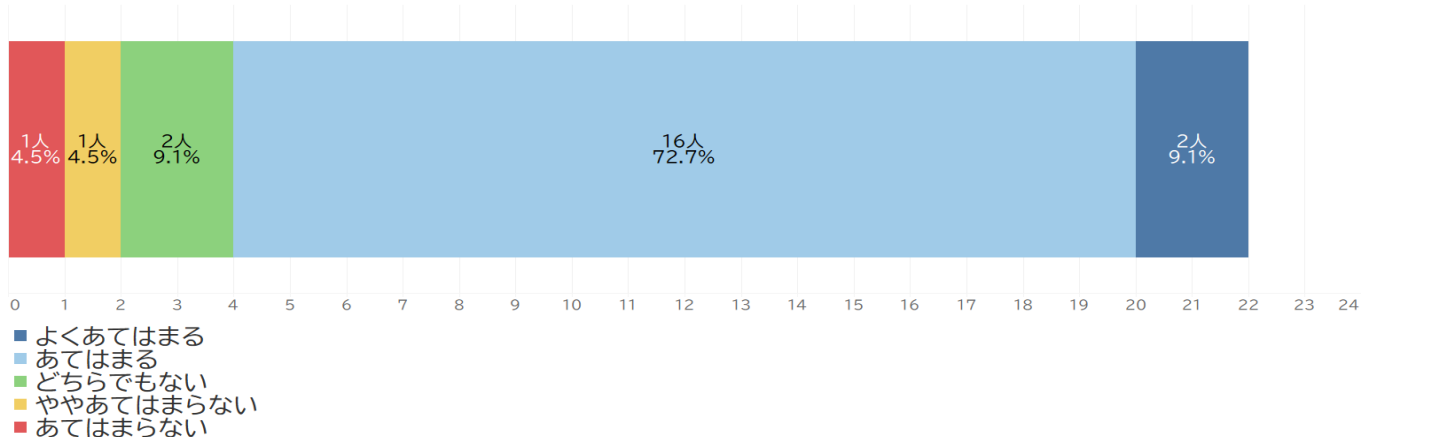
問 8. 社会生活と健康について基礎的な知識は役立っているか(22件の回答)。

問8. 社会生活と健康について基礎的な知識は役立っているか。



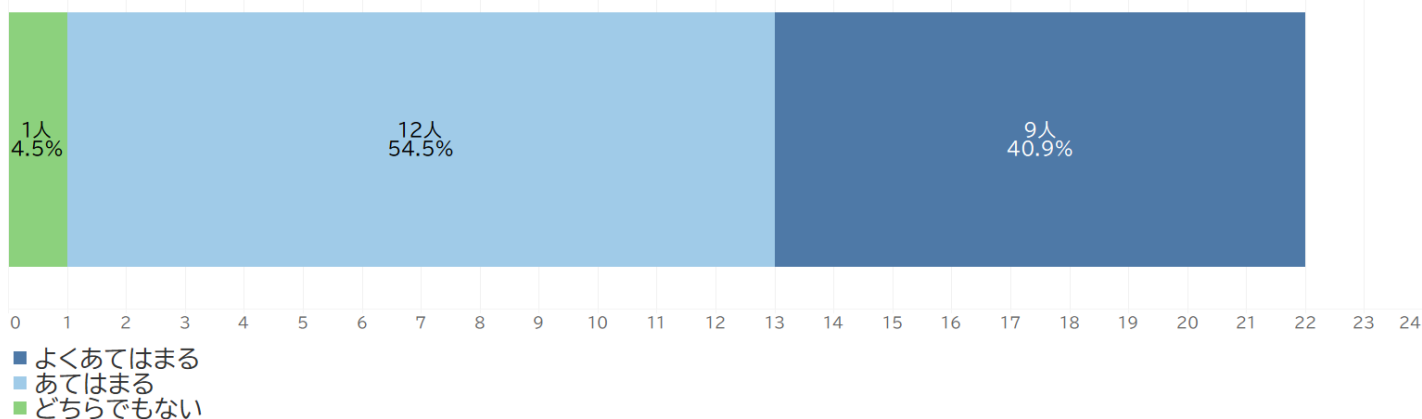
問 9. 人体の構造と機能について基礎的な知識と、それに関する実験の技能は役立っているか(22件の回答)。

問9. 人体の構造と機能について基礎的な知識と、それに関する実験の技能は役立っているか。



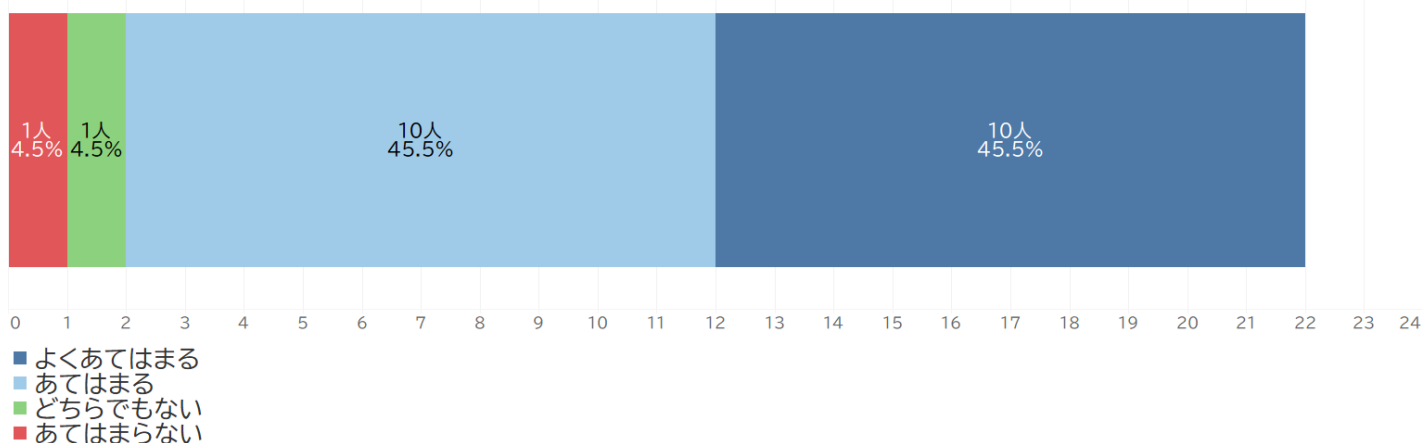
問 10. 食品と衛生について基礎的な知識と、それに関する実験の技能や調理技術は役立っているか(22件の回答)。

問10. 食品と衛生について基礎的な知識と、それに関する実験の技能や調理技術は役立っているか。



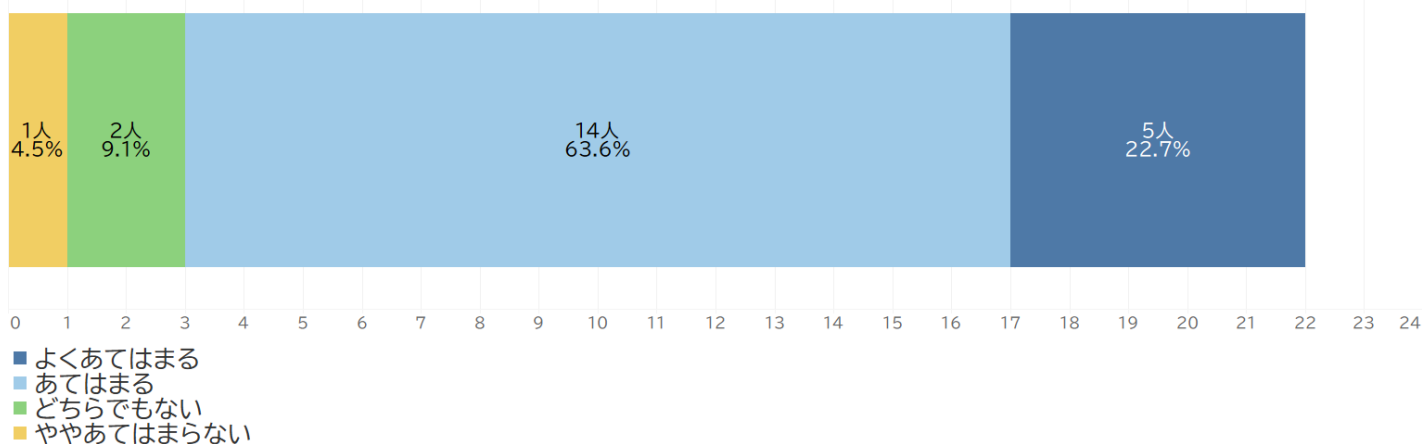
問 11. 栄養と健康について基礎的な知識と、それに関する実験の技能や調理技術は役立っているか(22件の回答)。

問11. 栄養と健康について基礎的な知識と、それに関する実験の技能や調理技術は役立っているか。



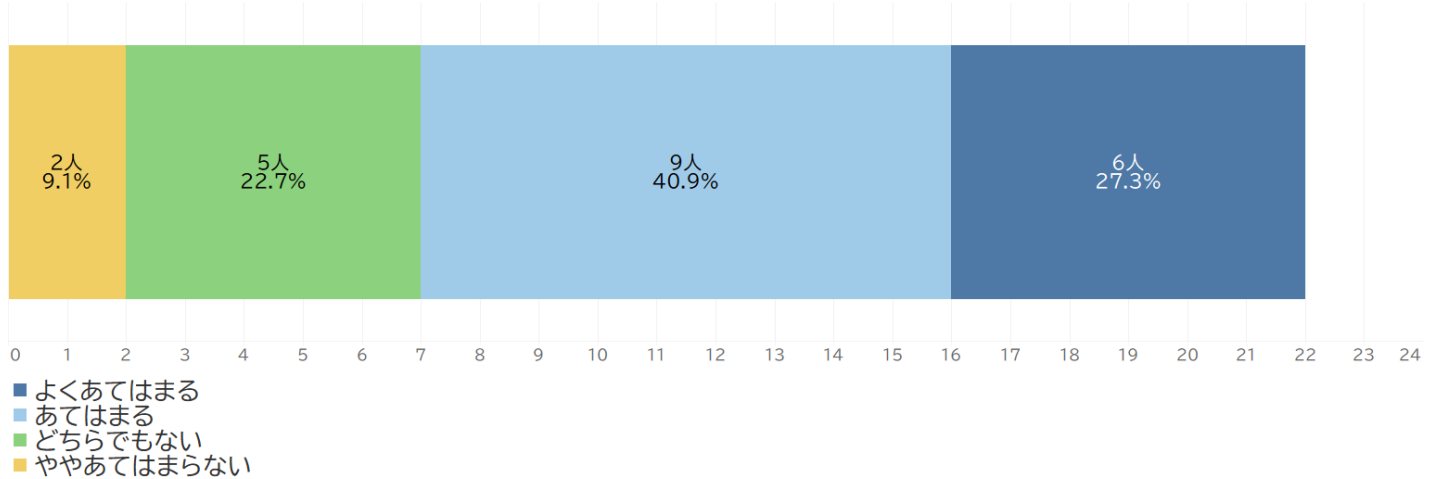
問 12. 栄養の指導について基礎的な知識と、それに関する実践的な技術は役立っているか(22件の回答)。

問12. 栄養の指導について基礎的な知識と、それに関する実践的な技術は役立っているか。



問 13. 給食の運営について基礎的な知識と、それに関する実践的な技術は役立っているか(22件の回答)。

問13. 給食の運営について基礎的な知識と、それに関する実践的な技術は役立っているか。



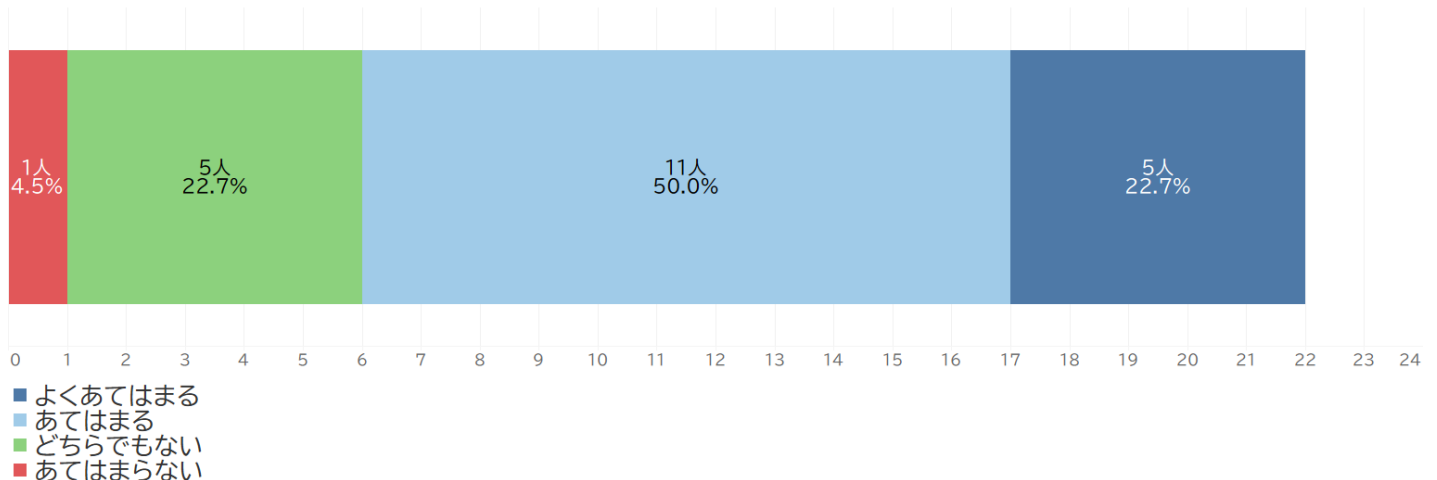
問 14. 実社会での経験を踏まえて学生時代を振り返ったときに、有意義だったと思う専門科目の授業がありましたらご記入ください。またその理由をご記入ください(5 件の回答)。

- 給食経営管理実習1 実際の現場に近い状態で実践できるから
- 食品学, 解剖生理学
- 臨床栄養学
- 調理実習です。調理の動線など動きを把握しておくことで、実際に働いた時に壁が低く感じられ、すぐに実践でき、会社の戦略として働けるからです。
- 調理実習で、色々な調理法を学べたから。

C. 汎用力(社会で活躍できる汎用性のある能力)について

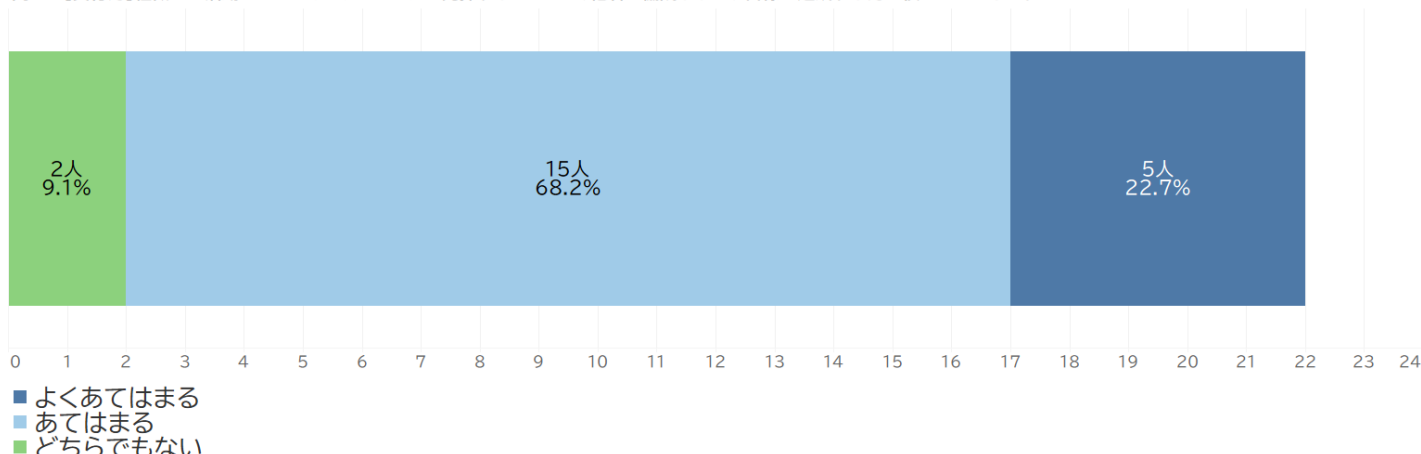
問 15. 【思考力】論理的に考え分析する能力, 常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は役立っているか(22件の回答)。

問15. 【思考力】論理的に考え分析する能力, 常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は役立っているか。



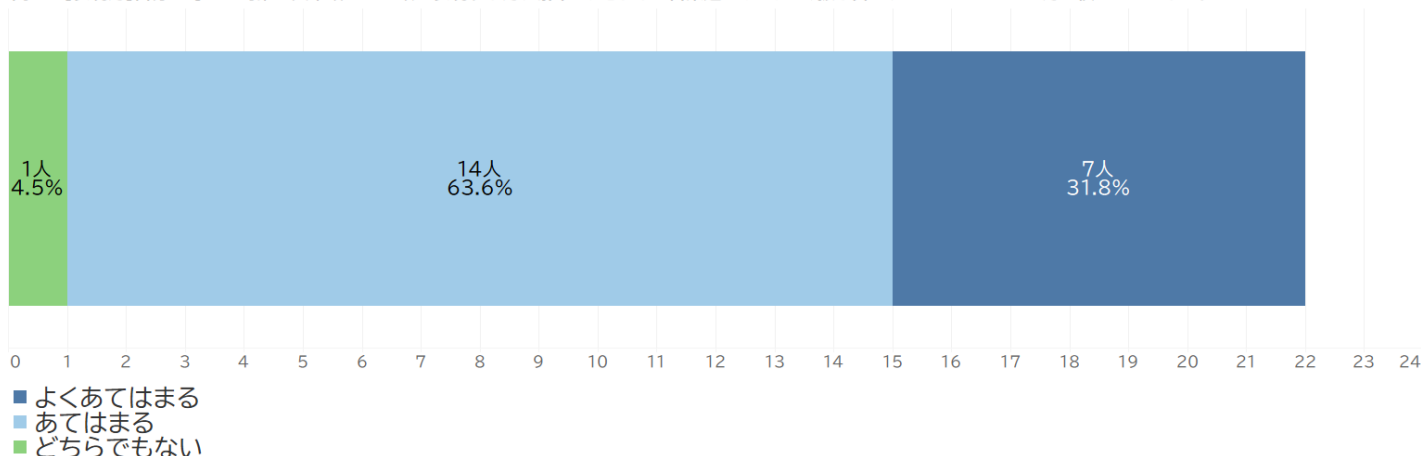
問 16. 【実行力】組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は役立っているか(22件の回答)。

問16. 【実行力】組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は役立っているか。



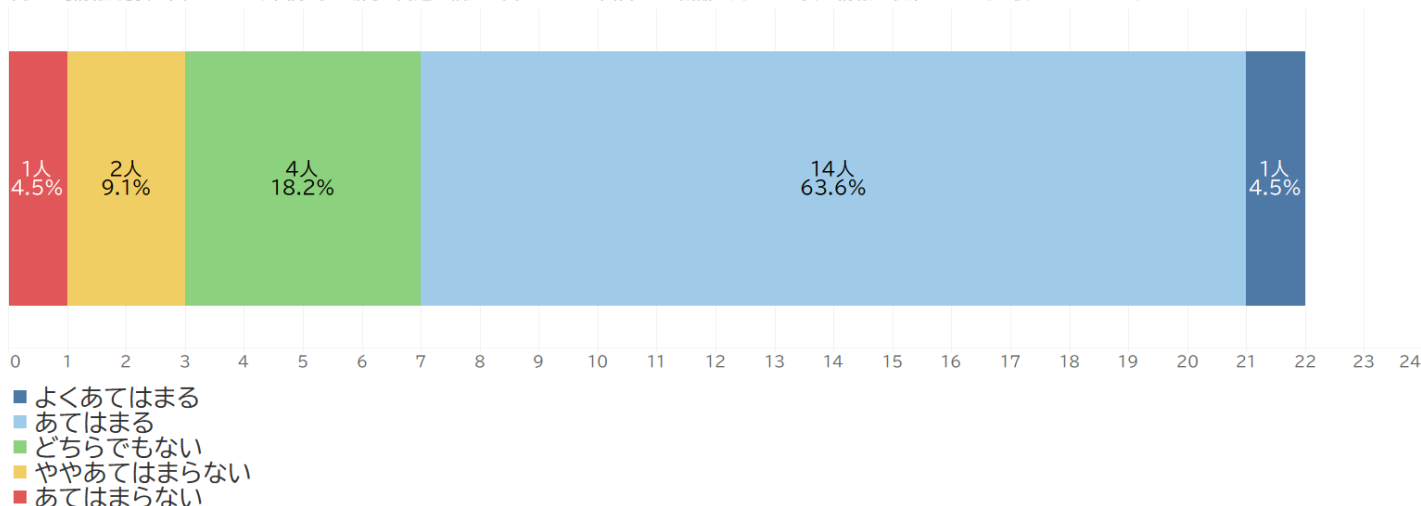
問 17. 【表現力】自分の考えを的確に文章或いは口頭で表現する力、場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、コミュニケーション力は役立っているか(22件の回答)。

問17. 【表現力】自分の考えを的確に文章或いは口頭で表現する力、場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、コミュニケーション力は役立っているか。



問 18. 【情報力】我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は役立っているか(22件の回答)。

問18. 【情報力】我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やict機器を用いて必要な情報を収集できる力は役立っているか。



問 19. 実社会での経験を重ねた今、社会人として必要だと思うもの、短大時代に身につけておけば良かったこと、在學生に身につけて欲しいこと等について、ご意見を自由にご記入ください(9 件の回答)。

- 興味のあることをとりにあらずやってみること。
- 優先順位を考える力
- 生活リズムを整え、メンタルを安定に保つこと。
- 挨拶、礼儀など、基本的なことをしっかりと身につけて欲しいです。
- コミュニケーション
- 英会話力です。専門用語やちょっとした時に英語が必要になるので、あの時もっと身につけておけばよかったと後悔しております。
- 調理技術をもっと上げておけば良かったと感じました。
- 基礎調理の分野はしっかり身につけておいた方が良かったなと思いました。あと、強いメンタルを持つことも大事です。
- 基礎的な敬語
- 

問 20. その他、ご意見ご要望などございましたらご記入下さい(0件の回答)。

## 令和7年度 卒業生アンケート調査結果 【初等教育科卒業生】

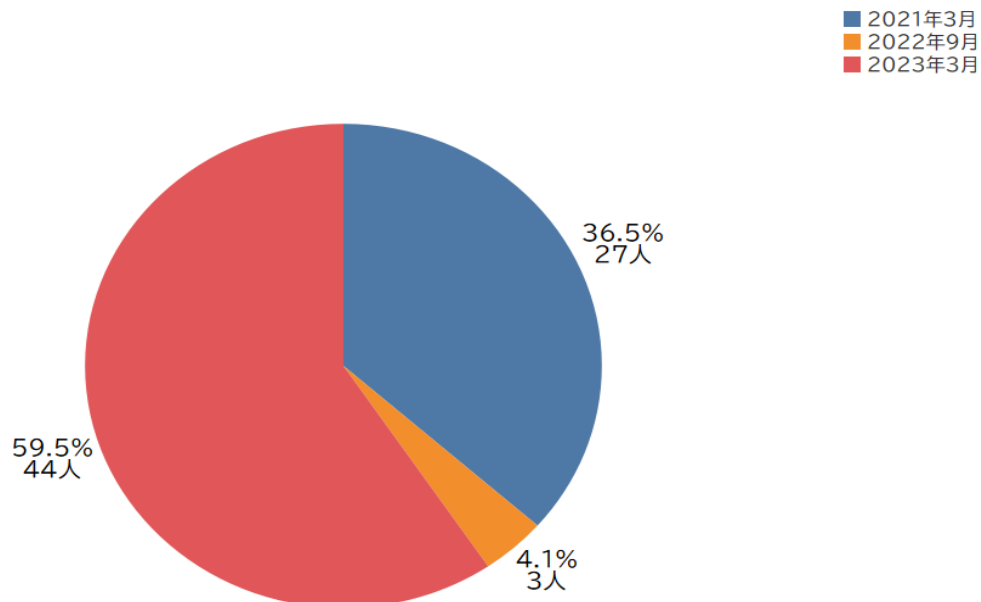
### (2)初等教育科【送付:368人,回収:74人,回収率20.1%】

- 調査対象 2022年度卒業生及び2020年度卒業生
- 調査期間 令和7年7月30日(水)～令和7年8月17日(日)

I. はじめに基本事項についてお答えください。

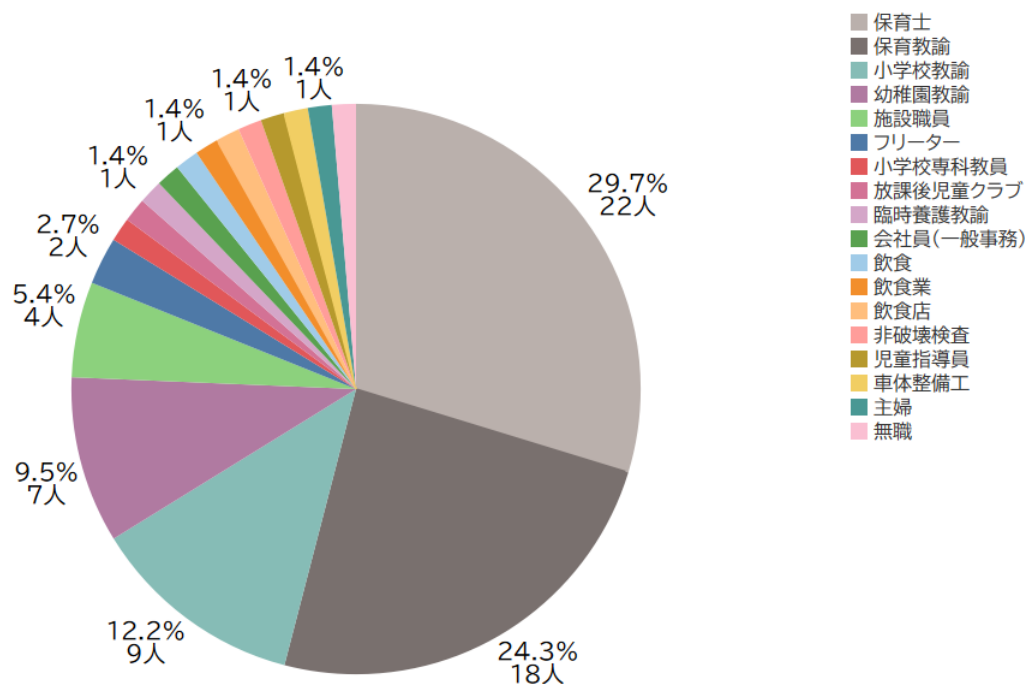
問1. あなたの卒業年月をお答えください(74件の回答)。

問1.あなたの卒業年月をお答えください。



問2. 現在の職業(職種)をお答えください(74件の回答)。

問2. 現在の職業(職種)をお答えください。



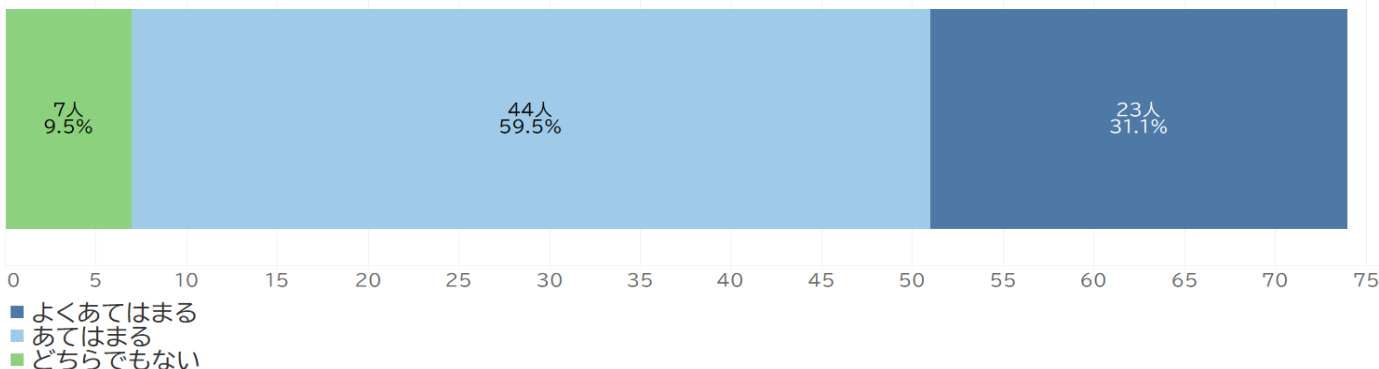
II. 別府大学短期大学部初等教育科で受けた教育について、次の事項に5段階評価でお答えください

(1.よくあてはまる, 2.あてはまる, 3.どちらでもない, 4.ややあてはまらない, 5.あてはまらない の5段階評価)。また、各事項に対して特記事項があれば、自由記述欄にご記入ください。

A.教養力(人間性の形成に資する幅広い知識, 技能)について

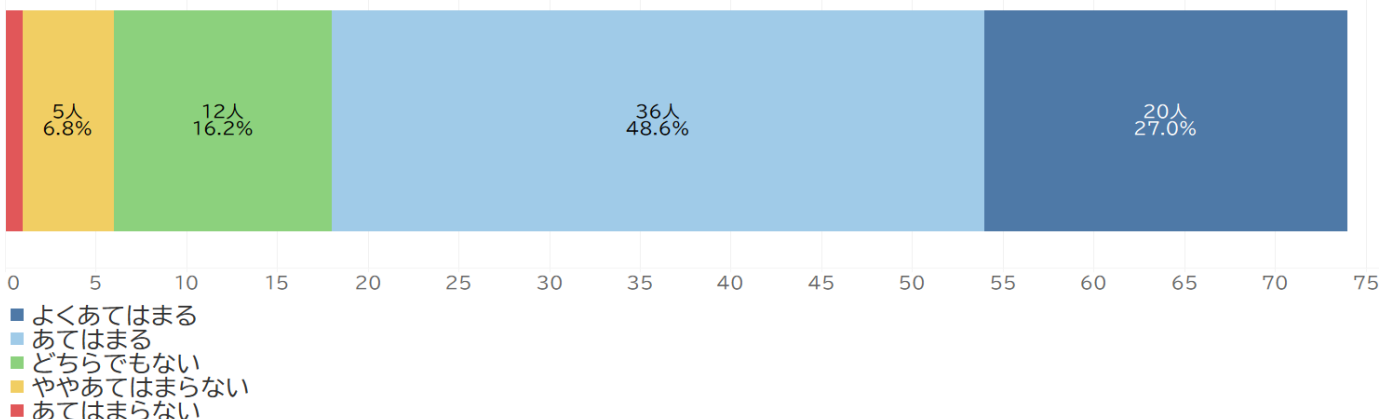
問 3.短期大学卒業に必要な知識・技能と幅広い思考力・判断力・表現力などの基礎的な教養は役立っているか (74 件の回答)。

問3. 短期大学卒業に必要な知識・技能と幅広い思考力・判断力・表現力などの基礎的な教養は役立っているか。



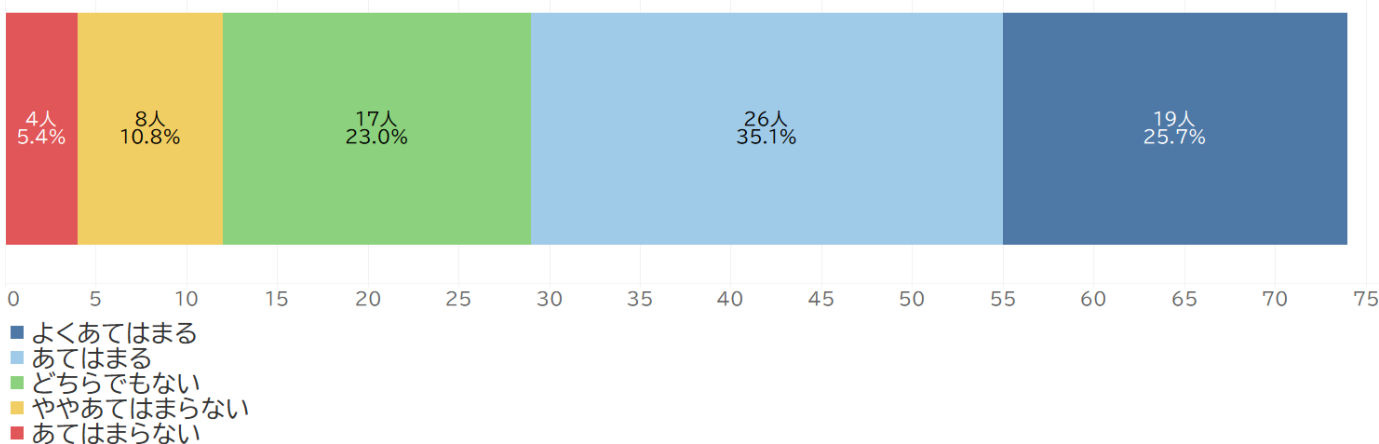
問 4.人間の探求や自然の摂理(心理学, 哲学), 社会の文化(法学, 地域社会フィールドワーク演習)などの基礎的教養は役立っているか(74 件の回答)。

問4. 人間の探求や自然の摂理(心理学、哲学)、社会の文化(法学、地域社会フィールドワーク演習)などの基礎的教養は役立っているか。



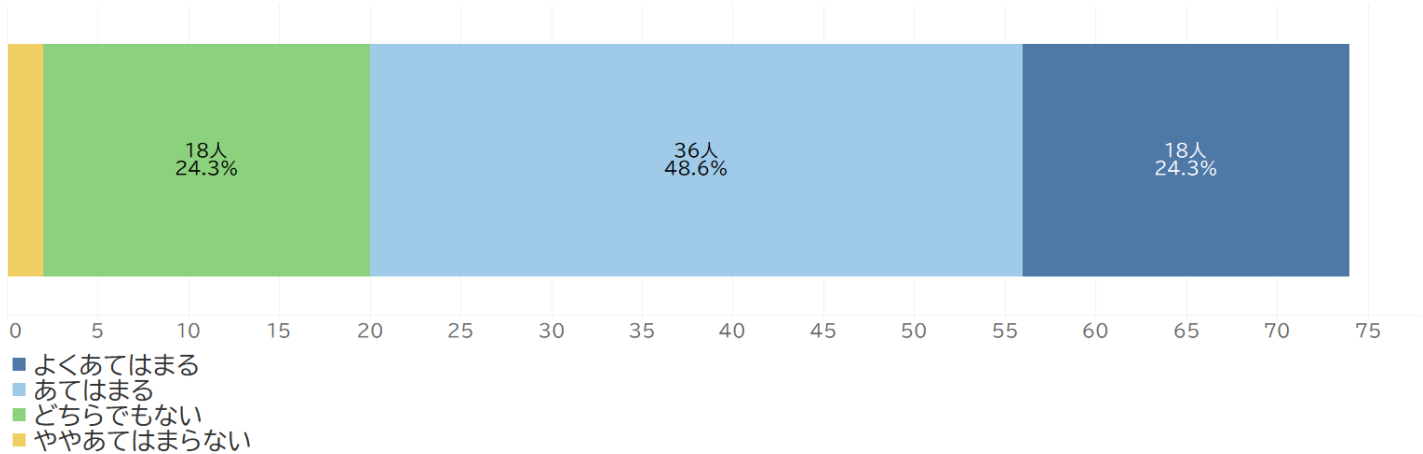
問 5.情報処理や外国語(情報処理基礎, 英語, 韓国語)などの基本的なリテラシーは役立っているか (74 件の回答)。

問5. 情報処理や外国語(情報処理基礎、英語、韓国語)などの基本的なリテラシーは役立っているか。



問 6.運動と健康維持・増進などの活動を実践する基本的な技能(保健体育)は役立っているか(74 件の回答)。

問6. 運動と健康維持・増進などの活動を実践する基本的な技能(保健体育)は役立っているか。



問 7.どのような教養教育が社会に出た後に役立つと思いますか。ご意見を自由にご記入ください  
(25 件の回答)。

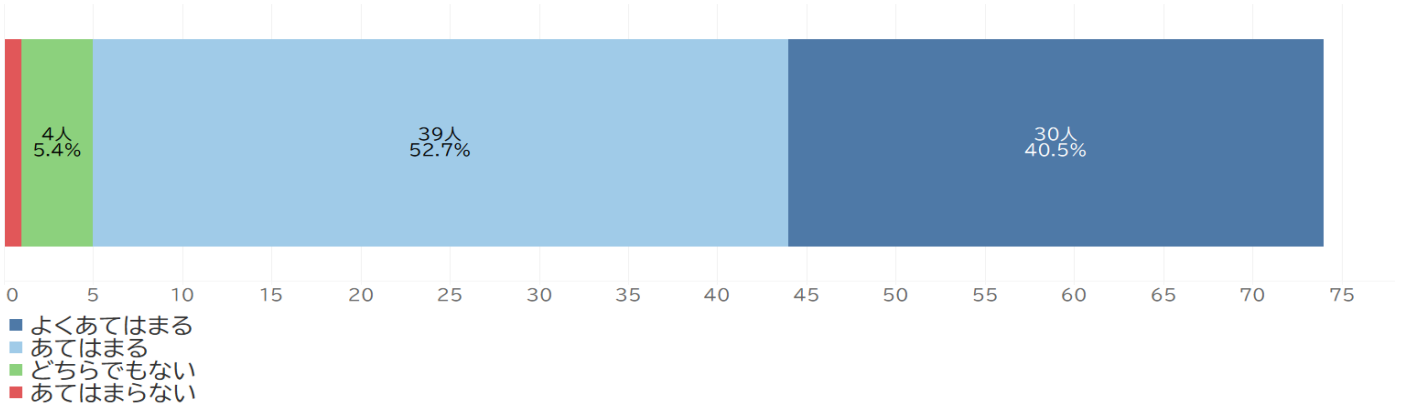
- 発達障がいについての基本的な知識と服薬
- 社会人マナーや、お化粧、言葉遣いなど
- ピアノ
- 附属幼稚園があるのに訪問に行かないのはもったいない。もっと週 1 くらいで学生と教員で行き、関わり方や資料作成などを教えてもらうべきだと感じる。卒業後すぐ就職したが、ほとんど役立っているのかがわからない。
- 支援を必要とする子どもたちへの支援方法
- 社会人としての心得
- 礼儀作法
- 協調性
- 紙芝居を読んだり、絵本を読んだり、実践的な知識がもっと身につくと良いと思いました。
- とても教育者としての勉強が励みになり、個人的にも学びになり、とても役立ちます。
- 特別支援教育
- パソコン技術、情報処理
- 幼児の発達などの学習ももちろん必要だが、社会人としての基本的なマナーや礼儀などを学生のうちはなかなか身につけることが難しかったので、教えてもらえる機会があると勤め始めてから戸惑うことなどが少ないのかなと思いました。
- 社会でのマナー
- 日常生活で使う敬語や、社会人として求められる考え方
- 思考力、判断力、表現力
- 保育に関することは基本的に必要で役に立ちました。また、情報処理の中で Word や Excel は書類作業で使うのでよく役立っています。また、人間の探求の面で心理学が少し役に立っています。様々な家庭があるので家庭に影響された子どもの心理を考える時よく役立っています。
- こどもとの関わり方
- 月案やクラスだよりで、エクセルをよく使うので、エクセルやワードもっと学ぶと良いと思いました。
- 小さなお子様連れのお客様や、障がいのある方など様々なお客様のご来店があり、都度自分なりの適切なご対応ができていると思う。
- 授業方法

- 子どもの人権について
- 自分の考えをしっかりと伝えられる人
- 丁寧語の復習 連絡帳を書くときに気を付けなければならないから
- 保, 幼, 小のつながりがよくわかって, 支援の方法がすごく役に立っています。背景から子どもを捉えて児童理解しているので, それは本当に助かっています。まだありますが…

## B. 専門力(専門に関する基本的な知識, 技能)について

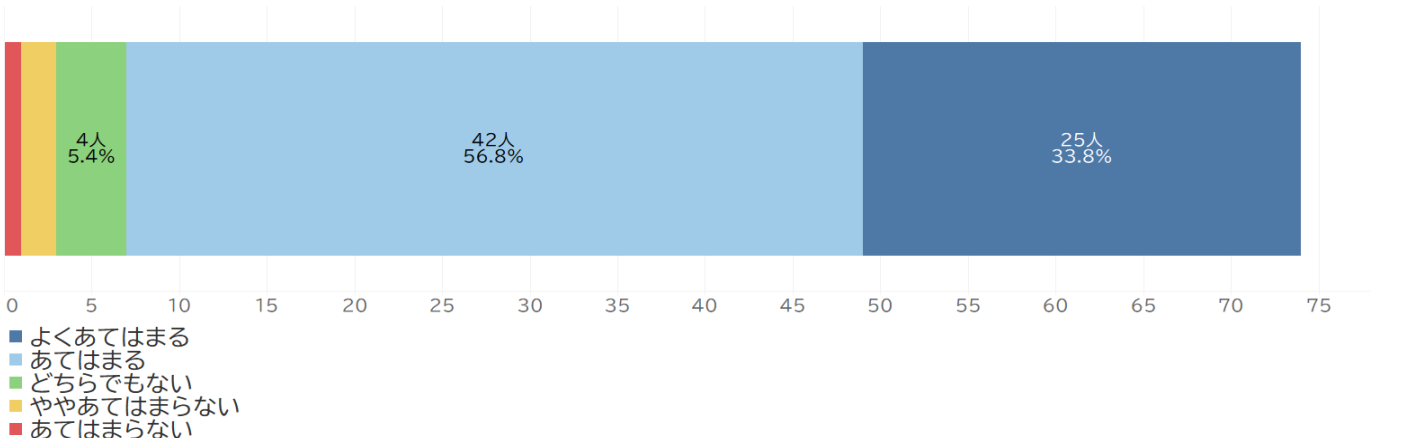
問 8. 教育・保育に必要な教科・保育内容に関する知識・技能は役立っているか(74 件の回答)。

問8. 教育・保育に必要な教科・保育内容に関する知識・技能は役立っているか。



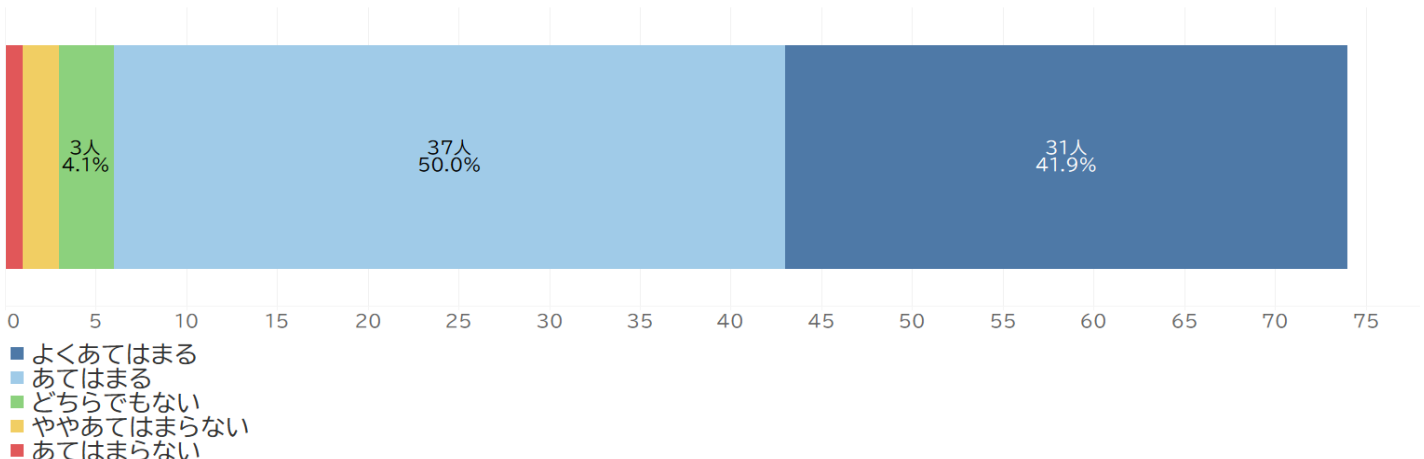
問 9. 教育・保育の本質や目的, 基礎理論や教職の意義は役立っているか(74 件の回答)。

問9. 教育・保育の本質や目的, 基礎理論や教職の意義は役立っているか。



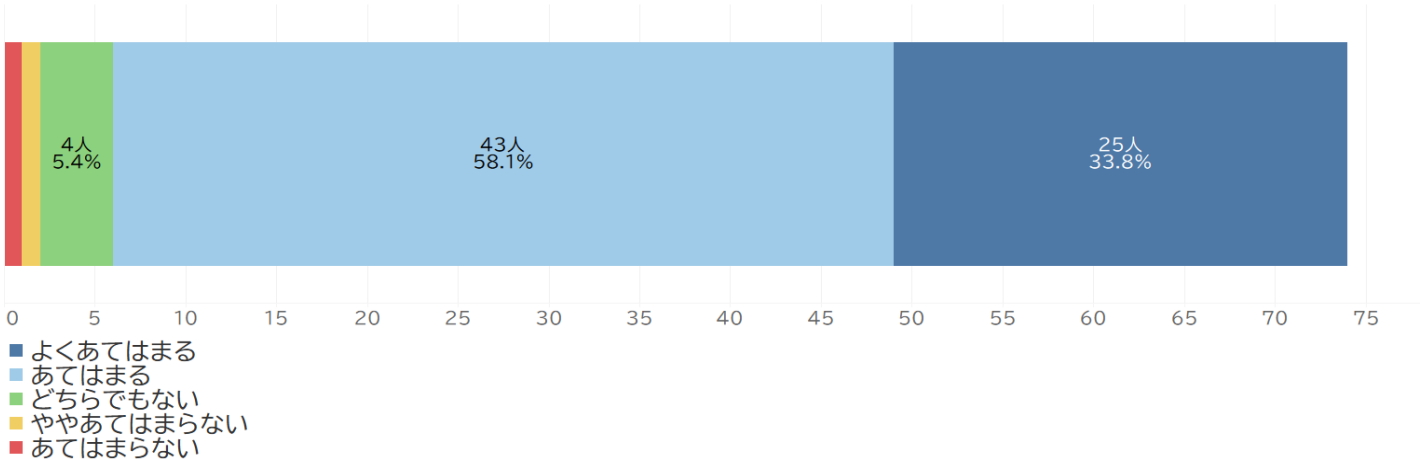
問 10. 教育・保育の対象である子どもの成長・発達, 保健, 栄養, そして家庭での生活などの知識・技能は役立っているか(74 件の回答)。

問10. 教育・保育の対象である子どもの成長・発達, 保健, 栄養, そして家庭での生活などの知識・技能は役立っているか。



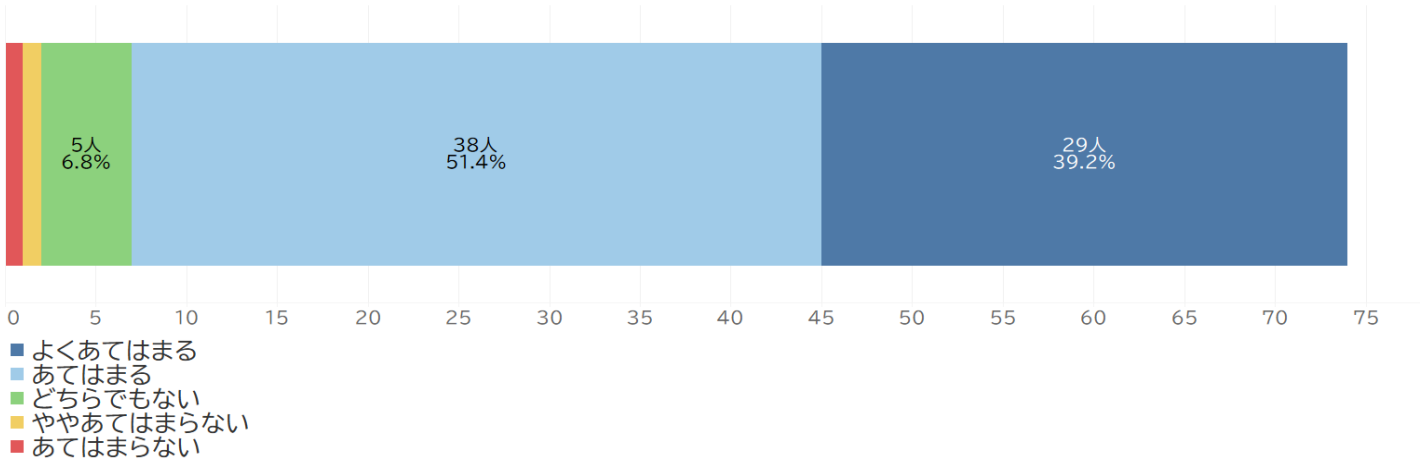
問 11. 教育・保育の指導内容や指導方法に関する知識・技能と思考力・判断力・表現力は役立っているか  
(74 件の回答)。

問11. 教育・保育の指導内容や指導方法に関する知識・技能と思考力・判断力・表現力は役立っているか。



問 12. 教育・保育の実際のある園・学校及び施設での実習により、総合的に修得した知識・技能と思考力・判断力・表現力は役立っているか(74 件の回答)。

問12. 教育・保育の実際のある園・学校及び施設での実習により、総合的に修得した知識・技能と思考力・判断力・表現力は役立っているか。



問 13. 実社会での経験を踏まえて学生時代を振り返ったときに、有意義だったと思う専門科目の授業がありましたらご記入ください。またその理由をご記入ください(19 件の回答)。 ※「障害」「障がい」は原文のまま使用

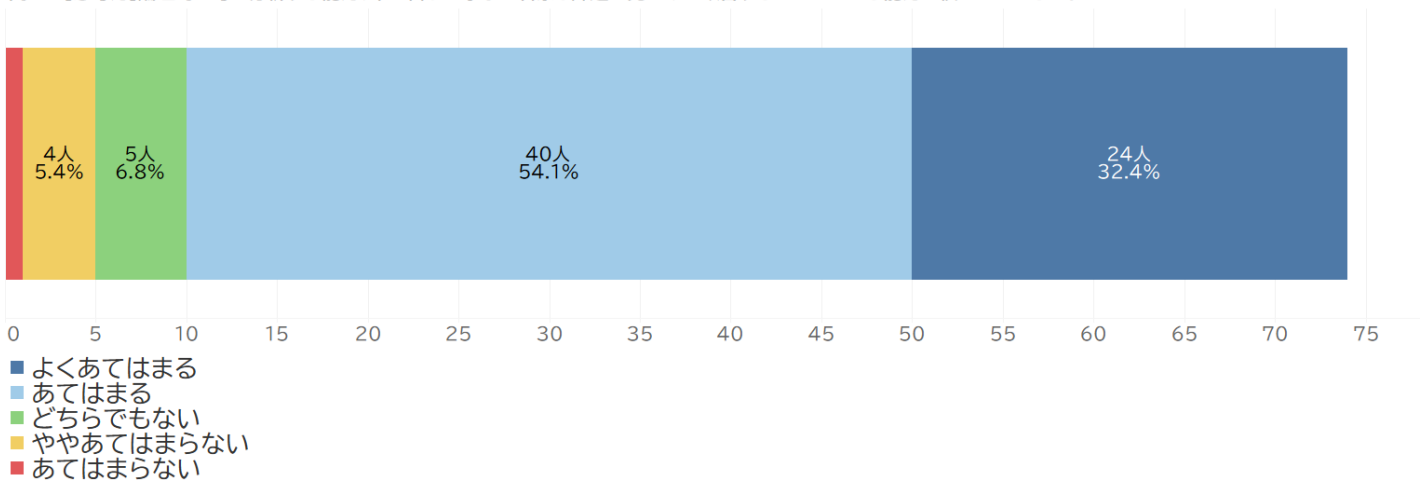
- 障がい児保育(必ず在園しているから。対応を学んでおけることで心構えももてた。実践に繋がりがやすかった)保育内容の、保育教材を作った授業。現場でも役立てられるから。
- ピアノ
- もっともっと現場に行って子どもと関わるべきです。じゃないと就職後、新卒指導なんてされません。
- 音楽(ピアノ) 保育の現場で使い、できることが当たり前だから。
- 実際に働く中でピアノを弾く機会は絶対にあり、弾けないと困ることもあるため、音楽の授業は役立っていると思います。また、短大の時に使っていた楽譜を今も私は園で使用しています。
- わからない
- 小学校関係の授業で、自然のものを使ってグラデーションを作ったことが子どもの目線になってできて良かったです。
- 算数を教えている時にそういえばと授業の事をよく思い出すことが多々あります。
- 障害児福祉

- 現在児童発達支援事業者に勤めているため、障害児保育や心理学で学んだことが活かされていると感じる。様々な視点から子どもを捉えることや背景を通じて子どもや保護者との関わり方を考えるなど、引き続き意識していきたいと思う。
- 「情報」と「心理学」の授業が役に立つことが多いと感じます。パソコンを普段使うので、「情報」を学んでいたことで、ブラインドタッチが当たり前に出来ることで仕事量もスピードも早く正確にできることに繋がっています。「心理学」は職場の先輩方と関わる際に、相手の状況を読み取る力に役立ることがあったことから、受けていて良かったと思いました。
- 特別支援の科目です。今、特別な支援を必要とする子どもの担当になり、授業で習った絵カードがとっても便利で分かりやすいことに気づいたからです。
- 想像以上に特性のある子どもが多く、障害児保育が想像以上に役立っています。また、表現で製作方法の演習は役に立っています。今はネットがあり調べたら何でも出てきますが、技法を知っていると製作の幅が広がるのでとても有意義だったと思います。
- 手遊び等
- 教育方法論
- キッズファーストを徹底しているので、子どもの心理について考えたり、また障がい児への知識は就職後の前職も今現在も役立っています
- 発達心理学, 特別支援教育関係の科目。特別な支援が必要な子が増え、学校で学んだ知識が役立つ場面が多かった。
- 実技
- ピアノの授業。授業で練習した曲が、「今月のうた」として、はいつていることがあったから。ピアノは苦手でも簡易伴奏で練習して弾ける曲を増やした方がよいと思う。

### C. 汎用力(社会で活躍できる汎用性のある能力)について

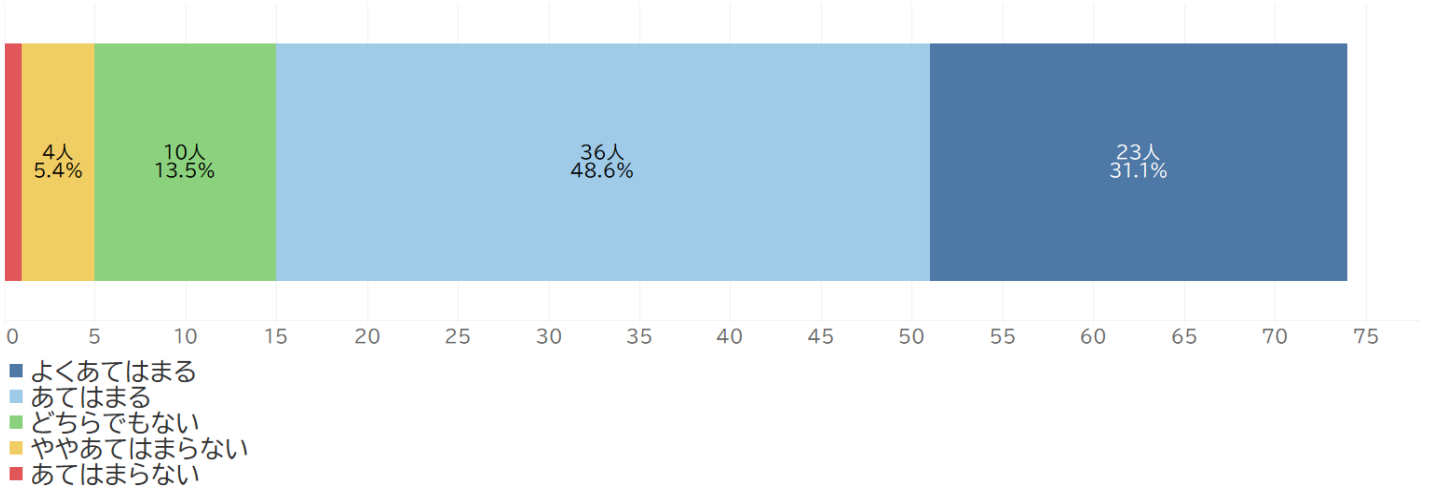
問 14.【思考力】論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は役立っているか(74 件の回答)。

問14.【思考力】論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は役立っているか。



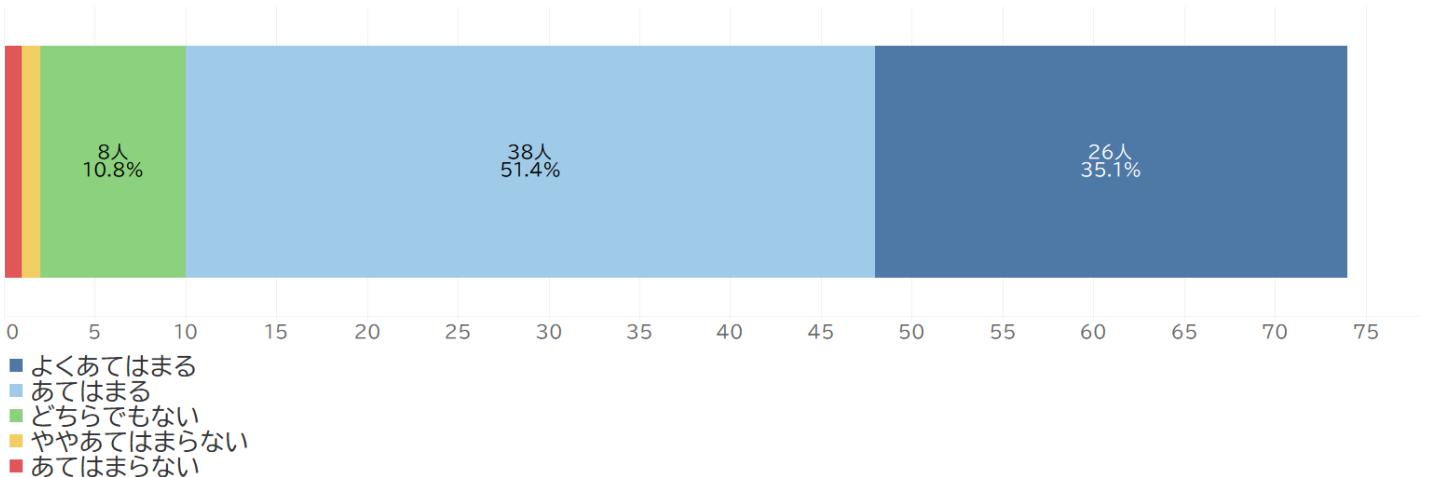
問 15.【実行力】組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は役立っているか(74 件の回答)。

問15.【実行力】組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は役立っているか。



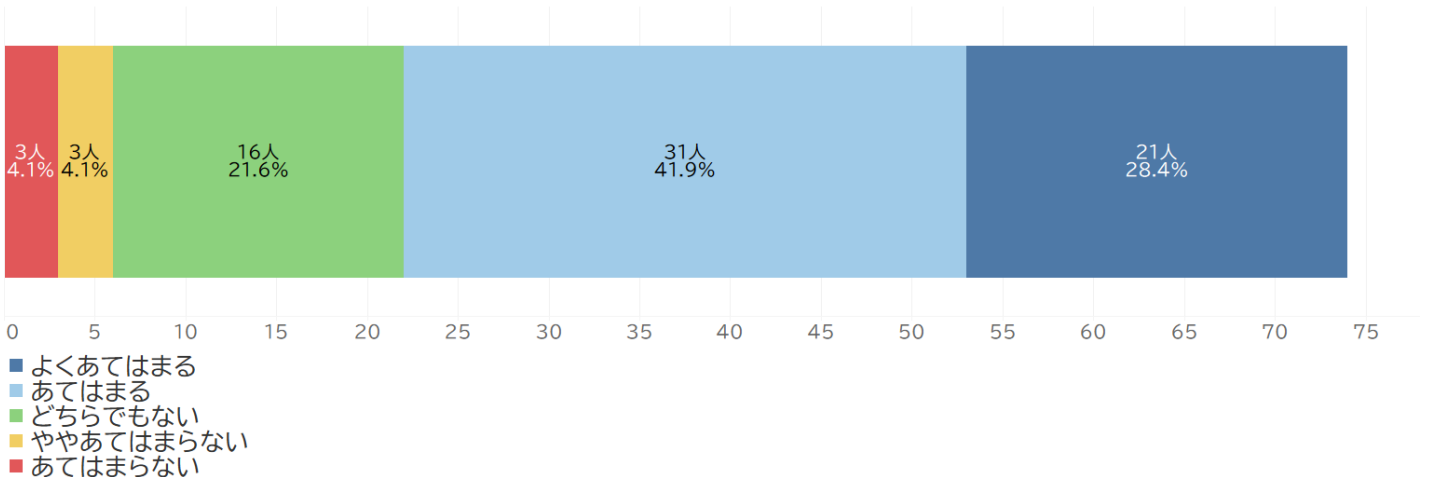
問 16.【表現力】自分の考えを的確に文章或いは口頭で表現する力、場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、コミュニケーション力は役立っているか(74 件の回答)。

問16.【表現力】自分の考えを的確に文章或いは口頭で表現する力、場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞い、コミュニケーション力は役立っているか。



問 17.【情報力】我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は役立っているか(74 件の回答)。

問17.【情報力】我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やict機器を用いて必要な情報を収集できる力は役立っているか。



問 18. 実社会での経験を重ねた今、社会人として必要だと思うもの、短大時代に身につけておけば良かったこと、在學生に身につけて欲しいこと等について、ご意見を自由にご記入ください(34 件の回答)。

- 実習生を迎える側として、毎回感じることは、15 分前には実習園に到着すること、返事・質問等の基本的なものができていないと心配になることがあります。
- コミュニケーション能力は大切だと感じる。職場内でも、保護者さんとの対話でも、電話でも必要になっている。また積極性や学び続けることが大切な職業(保育)だと改めて感じている。楽しむことを大切にしているところ。
- 子どもとの関わり方!! 教員の元でちゃんと指導すべきである。実践しないことにはなにもわからない。ただパワポみて学ぶだけでは足りない。
- 幅広い実習先の準備・元卒業生の話聞く等、将来に繋がるようなこと
- 臨機応変に行動するという事が大切だと感じている。保育教育を文書から読み解き、理解することも大切だが、実際に現場に出て働くとなると子どもたちの予測不能な動きもあるため色々な角度から予測し計画を立て臨機応変に対応できる力が必要だと思う。
- 社会人としてのマナー
- 実際に働く中で、さまざまな人と関わるため、礼儀作法やコミュニケーション能力は身につけておく必要があると思います。
- 人の気持ちを考えたり、自分の意見ばかり押し付けなかったり、協調性が1番大事です。
- 今、ピアノでだいぶ苦労しているのでもっと頑張っておけば良かったなあと思います。
- もっと勉学に励めばよかったと思う
- 保護者支援・対応 , 丁寧な字の書き方・敬語
- 子どもに暴言を吐かれたり、蹴られたりしてもめげないメンタル。
- 短大時代は幼稚園で働くことしか考えていなかったが、実際、幼稚園教諭を経験したのちに児童発達支援事業者に転職したことで、施設実習や障害児保育でもっと学んでおくべきだったと感じる。
- 礼儀正しさや常識。
- どれだけ座学で学んでも、現場に出て実際に経験して学ぶことの方が正直多いなと感じ、現場に出た時に様々な人と関わる人が多いので、人間関係を築く上で大切なことや、コミュニケーションのとりかた、精神面を整えるために自分でできることなど、社会人になって初めてぶつかる壁や悩みなども多かったので事前に少しでも方法などを知っておけるとよかったかなと思いました。
- 自分から動くこと
- 自動車免許を取らない人にも、交通事故の内容をもう少し詳しく教えて欲しいです。高校で習うことも少なからずありますが、運転をしている中で大学生がいきなり飛び出してきたり、夜中に並列して歩いたり自転車に乗っていたりするととても危ないです。運転をしている人としていない人では危険度が分からないと思いますが、少しでも知識として入れておく時間を作って置くことが大事だと思いました。
- 挨拶の大切さをもっとわかっておくべきだったと思った
- 子どもの考え方
- コミュニケーション能力は必須だなと思います。子どもと毎日接しますし、職員や保護者の方とも話をするので、この力は必要だなと思います。また、保護者との信頼関係の築き方も学べるといいなと思います。
- 働く園によって違うかもしれませんが、私が今働いている園が正規職員を中心に保育活動が回っており、若い正規職員がベテランの臨時職員に指示を出すことが多いので、子どものことだけでなく、どのようにクラスを運営していくかを考えられたらもっと気持ちに余裕を持っていたかと思います。在學生にはぜひ研究会に入ったり、沢山、表に立って発表の機会を作ったりして欲しいです。クラス運営だけでなく、園全体での誕生日会や行事の運

営を任された時に表に立つ経験をしておくと慣れやすいのでおすすめです。

- 手遊び, 集団遊び
- コミュニケーション能力と積極性
- 実習での経験が今にとっても活かしていると思うため, 苦しいこともあるかもしれないが一生懸命取り組んで欲しいと思う。
- 探究する力を身につけておけばよかったなと思った。自ら何か課題を見つけて情報収集をして発信することかできてきない。
- 対人関係を良好に築く力は持っていた方がいいと思う。上司になる人との関係値は自分の出方次第で変わってくるので, うまくやる, その人を分析する, 観察力を養ってください。
- ピアノのコードを知る。発達段階を細かく理解する。発達支援や保護者対応への知識(実際現場で働いてる先生の声)。
- 授業力, リーダーシップの力
- 社会人としての言葉遣いや, 保護者とのコミュニケーションのとり方, ストレスとの闘い方
- 挨拶
- コミュニケーション能力
- コミュニケーション
- 先延ばしせずすぐに取り組むこと。分からないからと先延ばしをすると, 自分も子どもたちも後々苦しくなるから。
- 園で働く際に, 月案や週案などの書き方, どんな事を書くのかを詳しく知っているのと良かったなと思いました。

#### 問 19. その他, ご意見ご要望などございましたらご記入下さい(9 件の回答)。

- もっと実践的な授業が多くできると, 現場で役立てやすいと感じた。(手遊び, 弾き語り, 年齢ごとの遊び, 制作など)
- 学んだこととさくらんぼ保育ではだいぶ違う。
- 残業手当がもらえなかったり, 正規職員だからと倍の仕事内容を投げられることが多くて現実, 苦しいです。  
また, 上司が子どもに手をあげたり暴言を言ったりすることがあるので, それを見聞きすと心が苦しいです。  
卒園した所に実習に行くのではなく, 自分が興味のある園に行って実習した方がより将来性をもって就職できると思います。もっと先生方卒業生の声を聞いてほしいです。
- 勤めていた際に何名か実習生が来ましたが中には挨拶のない生徒さんもいらっしゃいます。改めて実習前の指導の際に保育の事だけでなく挨拶やマナーを伝える機会があると良いのではないかと思います。
- 短大の頃に使っていた楽譜を今も使用しています。メジャーな曲からマイナーな曲まで入っているのでとても助かっております。ありがとうございます。
- 別府大学には大変お世話になりました。座学では学校に対する不安がありましたが, 今では, 子どもと過ごす時間がとても楽しいです。
- 短大時代はとても楽しかったです。
- 授業では, 具体的な「遊び」について教えた方がよいのではないかと思います。運動遊び→マット・鉄棒・鬼ごっこ etc. 感触遊び等→氷・泡・色水 etc. …それぞれの準備物やその活動のあとどんなことをしなければならないか等を考える時間を設ける。すぐに現場にでなければならない学生に, 少しでも選択肢を作ってあげられると, 働き始めてからの困りも減るかなと思います。
- 在学中に教わったことを現場で活かすことができています。ありがとうございます

## 別府大学短期大学部「アセスメント・ポリシー」に基づく卒業生・雇用主アンケートの結果による DP 達成度評価

### 「卒業生・雇用主アンケート」の結果による DP 達成度評価実施要領

令和元年 6 月 12 日  
短大企画運営会議

#### 目的

別府大学短期大学部「アセスメント・ポリシー」では学修到達状況の評価指標の一つに「卒業生調査による「卒後評価」」が定められている。このアセスメント・ポリシーに基づき、「平成 30 年度卒業生・雇用主アンケート」の結果から DP 達成度を評価し、現在の教育・研究内容の課題を明らかにすることを目的とする。

#### 実施方法

- (1) 「平成 30 年度卒業生・就職先アンケート」の結果を踏まえ、各学科の DP 3 領域 15 項目(教養 5 項目, 専門 6 項目, 汎用 4 項目)について、それぞれ 4 段階で到達度を評価し、その判断理由を 200 字程度で記入する。
- (2) 4段階の評価基準は次の通りとする。

評価	評価の基準
4	DP の達成度が 80%~100%
3	DP の達成度が 60%~80%
2	DP の達成度が 40%~60%
1	DP の達成度が 40%以下

- (3) DP 到達度の評価は、1 項目を 2 名以上の教員で評価することとし、また、出来るだけ多くの教員で分担して実施する。
- (4) 3 領域(教養, 専門, 汎用)毎に達成度及び前回評価結果からの改善についての総評を 200 字程度で記入する。
- (5) DP 到達度評価は評価用紙に記入する。各学科で評価結果をとりまとめて学科長が学長補佐(教務担当)に提出する(7 月 26 日(金)を〆切とする)。

#### 評価結果の集約

各学科の DP 到達度評価結果は学長補佐(教務担当)が集約する。

#### 評価結果の報告

全体の評価結果は学長に報告した後に短大企画運営会議で報告する。

## 1. 目的

別府大学短期大学部は、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、厳格で客観的・公正な成績評価を行ない、かつ、成績評価を含めた複数の方法で学生の学修到達状況を多角的・総合的に評価することによって、教育の質の向上及び教育の質の保証を行う。

## 2. 成績評価

別府大学短期大学部は、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、シラバスに明示した授業の到達目標及び評価方法並びに学科履修規程に明記された成績評価の区分によって、厳格で客観的・公正な成績評価を行う。

## 3. 成績評価を含めた多角的な学修到達状況の評価

別府大学短期大学部は、2. の成績評価に加え、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、各学科・課程等(学位又は教育プログラム策定単位)を基本に、その学修内容等に応じ、下記から選択した複数の方法で学生の学修到達状況や達成すべき質的水準を多角的・総合的・客観的に検証(測定)・評価する。このことによって、ディプロマ・ポリシーを起点としたPDCAサイクルを回し、授業内容、授業方法、評価基準、カリキュラム、入学者選抜などについて改善を図るとともに、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの各ポリシーについて必要な見直しを行う。さらに、学修成果(到達目標)の達成度評価を集約し、別府大学短期大学部全体の学修成果の達成状況を評価する。

### ① ポートフォリオ学修支援システムでの「学生による評価」

学生自身が、ポートフォリオ学修支援システムを利用して、学修成果(到達目標)の達成度を自己評価する。

### ② 口頭試問での「教員による評価」

卒業時に修得することが期待される学修成果(到達目標)を、発表または口頭試問によって評価する。

### ③ まとめ試験による「客観評価Ⅰ」

科目区分毎に「まとめ試験」による内部アセスメントテストを行い、修得することが期待される学修成果(到達目標)について達成度を確認する。

### ④ 外部テスト等による「客観評価Ⅱ」

客観的な評価を行うために、外部テストなどを利用した学修成果(到達目標)の達成状況を評価する。

### ⑤ 卒業生調査による「卒後評価」

別府大学短期大学部での教育への評価、職業生活や社会生活での必要な知識と能力、別府大学短期大学部への希望などについて、卒業生への調査を行うことで、学修成果(到達目標)の達成状況を評価する。

### ⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

在学生においては、実習先訪問や実習連絡会議等を通して、学外実習先の企業や施設などでの学生に対する評価を把握し、到達目標の達成度を評価する。卒業生においては、就職先の

企業等での卒業生に対する評価を把握し、到達目標の達成度を評価する。

⑦ 卒業時における学習成果達成度調査

卒業年次生を対象に、本学の DP(ディプロマ・ポリシー)に定める学修成果の目標に対する達成状況を調査する。

⑧ CP(カリキュラム・ポリシー)等に基づく教育課程プログラムの成果の検証

各科目や学科ごとの GP の分布, DP の達成状況, 免許・資格の取得状況, 就職状況等を調査し, その結果に基づき, 教育課程の適切性を検証する。

令和 6 年 3 月 5 日改定

## 食物栄養科「卒業生アンケート」による DP 達成度評価

食物栄養科は、本学の定める課程を修了し、「教養」、「専門力」、「汎用力」の3つの力を身につけたと認められる学生に短期大学士(栄養学)の学位を授与する。学修にあたっては、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、学問を通して真理を探究し、確かな知識を修得することによって、独立した主体的な人間となることを基本的な目標とする。

本年度の調査は、2020年度と2022年度の卒業生を対象として実施し、昨年度よりも回答数のUPを図った。送付数90人のうち回答人数22人、回収率は24.4%であった。回答人数、回収率ともに前回調査より大幅に向上した。これは、中間集計の地点で該当卒業生に教員より声をかけたことが反映されたようだ。

### 1. 教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能) カッコ内の数字は昨年度の評点

(問3)短期大学の教育に必要な知識・技能と幅広い思考力・判断力・表現力などの基礎的な教養は役立っているか。

評価(1~4)	理由
4(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が合計で81.8%となり、昨年度のアンケート結果より20ポイントも上昇して、80%を超えたので評価を4とした。「どちらでもない」、「あてはまらない」は2つとも9.1%であった。この結果から、基礎的な教養を身につけることや、建学の精神及び教育目的・教育目標等の理解については、多数の卒業生が肯定的にとらえているが、就いた職種によってとらえ方が変わると考えられる。

(問4)人間の探究や自然の摂理、社会の文化などの基礎的教養を身につけている。

評価(1~4)	理由
3(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」の合計が63.6%で昨年度の61.5%を少し上回る数値であった。「ややあてはまらない」「あてはまらない」は9.0%で昨年の7.7%から少し増えた。今後も、人間の探究や自然の摂理、社会の文化などの基礎的教養が専門性の中に活かされることや、社会生活を送る上での基盤となることを学習者に認識させた上で学修を進めていくことをさらに推進していく必要がある。

(問5)情報処理や外国語などの基本的なリテラシーを身につけている。

評価(1~4)	理由
2(2)	「よくあてはまる」0%「あてはまる」が59.1%で、昨年度のアンケート結果30.8%より大きく伸びた。しかし、60には達していないし「よくあてはまる」が0だったため、評価は2のままとした。「情報力」についてはまだまだ評価が低く、記述からは基本的なリテラシーより実用的なものを想定して回答していると考えられる。大学では一昨年度から、汎用力の「情報力」の向上に力を入れている。今年度も大幅な向上はしているが、その成果は来年度調査で現れるのではないかと考える。授業では、情報処理の基礎知識を積極的に扱い、学生に表現させたり調べさせたりしている。今後これらの改善が評価の向上や情報力の向上につながるであろう。

(問6)運動と健康維持・増進などの活動を実践する基本的な技能を身につけている。

評価(1~4)	理由
2(2)	「よくあてはまる」「あてはまる」の合計が 54.5%で昨年度(46.2%)から上昇した。さらに「ややあてはまらない」「あてはまらない」の合計は 18.1%であり、この数値は昨年度 23.1%から下降することができた。今後は専門科目における栄養学的観点から栄養学とともに健康維持・増進に関する基本的知識と技能を身につけていく必要があると考えられる。栄養士として重要な知識・技能であるため、保育所・認定こども園等や介護施設現場でも必要になる「スポーツと健康」等の受講者を増やすとともに学習効果を高めていく必要がある。

#### 教養(人間性の形成に資する幅広い知識, 技能)DP 達成度及び前回評価結果からの改善についての総評

回答数が22名と昨年の13名より大きく向上した。評価ポイントは1項目が向上し、そのままの評価点でも回答の中身は肯定的なものが大きく増えている。一昨年のように回答への声掛けができたことが、この数字に表れているといえる。

問3については学生評価が高く、基礎的な教養が役立っているとの評価であった。例年高いが、今年も高い水準を維持できた。問5. 情報処理他を対象とするような具体的な質問内容では、「よくあてはまる」0%「あてはまる」が59.1%で、昨年度のアンケート結果30.8%より大きく伸びた。これは、より現場での実践に使える学修方法や学修内容にしたことや習熟度学習などを取り入れたこと成果が表れているのではないかと考えられる。ただ、自由記述では、まだまだ、「情報処理や表現力について、もっと実践的に学ぶことが大切である。」等の声も他の項目の回答よりも多く書かれている。さらに、社会に出てからの情報処理力の必要性から大学での授業を見直す必要があると考える。

問4や問6の質問には「どちらでもない」との回答が4分の1であった。全体としては、高評価であるが、学ぶことの意義や履修選択段階から将来の必要な力になることなど意識させることが必要であり、学修内容や方法の改善をさらに進めていく必要がある。

(問7)の自由記述においては、コミュニケーション能力を向上させる必要を感じたという意見もあり、挨拶など常識的な事も含めて、人間関係づくりやそれから発生するストレスの低減につながる学修を考えていく必要を感じた。

## 2. 専門力(専門に関する基本的な知識, 技能) カッコ内の数字は昨年度の評点

<社会的意義> 食物と栄養・健康に関する知識や技術の社会的な意義や、食物と栄養・健康に関する知識や技術を学ぶことによって社会でどのような役割を担うことが期待されているかを明確に理解している。

<職業生活で評価される能力> 食物と栄養・健康に関する専門教育を通して、職業生活等で評価される能力として、特に栄養管理や給食管理、調理の能力を修得している。

(問8)社会生活と健康について基礎的な知識を修得している。

評価(1~4)	理由
4(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が 81.8%であり、昨年度より若干あがり、80 ポイントを超え、高水準を維持しているので評価は4とした。 また、「どちらでもない」という評価が 18.2%であった。卒業生は栄養に関する就職先ばかりではないので、このような回答は毎年一定数でてしまうと考える。栄養に関わる仕事に携わっている卒業生が一定の社会福祉や健康管理に関する基礎的な知識および技術を概ね修得し、卒業後も役立っていると考えられる。

(問 9)人体の構造と機能についての基礎的な知識とそれに関する実験の技能を修得している。

評価(1~4)	理 由
4(2)	「よくあてはまる」「あてはまる」は、昨年度は 48.5%から今年度は 81.8%と大きく、向上した。評価を4とした。「どちらでもない」が 9.1%となり、昨年度の 53.8 から激減している。この分野も専門性が高く、栄養士職以外の職に就いた卒業生は、質問内容を活用する場面がないからだと考える。病院や福祉関係の栄養士として仕事をしている卒業生は人体についての基礎的な知識等について学校での学びが卒業後も役立っていると考えられる。

(問 10)食品と衛生についての基礎的な知識とそれに関する実験の技能や調理技術を修得している。

評価(1~4)	理 由
4(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」との回答が 95.4%(昨年 77.0%)あり、評価は4とした。多くの卒業生が食品と衛生に関する基礎的な知識および技術を概ね修得しており、卒業後も役立っていると考えられる。「どちらでもない」の回答が残り 4.5%あることから、食品と衛生に関する基礎的な知識は栄養士としてはもとより、一般の社会生活においても重要なことであり、継続して学修を充実させていく必要がある。

(問 11)栄養と健康についての基礎的な知識とそれに関する実験の技能や調理技術を修得している。

評価(1~4)	理 由
4(3)	「よくあてはまる」、「あてはまる」の回答は 91.0%であり評価は4とした。昨年度よりの大きく上昇した。さらに一昨年度よりもあがっている。卒業生は栄養と健康に関する基礎的な知識および技術を概ね修得しており、特に栄養に関する知識が必要な就職をした学生は卒業後も役立っていると考えられる。栄養と健康に関する基礎的な知識は、一般の社会生活においても重要であるので、さらに継続して学修を充実させていきたい。

(問 12)栄養の指導についての基礎的な知識とそれに関する実践的な技術を修得している。

評価(1~4)	理 由
4(3)	「よくあてはまる」22.7%と昨年度より下がったが、「あてはまる」63.8%で合計 86.3%は昨年度(61.6%)より 20 ポイント以上大きく向上した。評価は4とした。栄養の指導については、栄養士の専門職に就職するか否かで必要性が変わってくるのが要因と考えられる。(45.5%が栄養士以外)。栄養士で就職した者は、概ね知識および技術が修得でき、指導の面からも役立っていると考えられるが、さらに学修を充実させていく必要がある。

(問 13)給食の運営についての基礎的な知識とそれに関する実践的な技術を修得している。

評価(1~4)	理 由
3(3)	「よくあてはまる」27.3%、「あてはまる」40.9%の合計 68.2%でポイント数は向上したが、80 には届かなかったため、評価は 3 とした。就職先と関連した数値になっているのではないかと考えられる。栄養士として就職した卒業生は学修内容が役立ったと回答しているので給食の運営に関する基礎的な知識および実践的な技術は概ね習得したと思われる。

**専門力(専門に関する基本的な知識、技能)DP 達成度及び前回評価結果からの改善についての総評**

専門性に関する知識, 卒業後に栄養士で就職したか一般職で就職したかによって結果が大きく変わってくるので分析は困難であるが, 評価は 6 項目中 5 項目が4となっている。卒業生の大半が専門に関する知識・技能は概ね修得できていると考えられる。「人体の構造と機能」については, 学修内容と現実社会との関係を意識させる必要がある。

自由記述に関して, 栄養に関する知識, 調理実習, 病院実習が有意義であったという意見が多く, これらの授業, 実習がきわめて有効であったことがわかったので, 今後とも継続してよい講義, 実習となるよう努力したい。また, 近年ニーズが増えている就職先の保育園等での食育に関する内容にも力を入れていきたい。

**3. 汎用力(社会で活躍できる汎用性のある能力) カッコ内の数字は昨年度の評点**

(問 15)【思考力】論理的に考え分析する能力, 常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は役立っているか。

評価(1~4)	理 由
3(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合が 72.7%であった。昨年度の 69.3%から上昇はしているが, 80 に届いていないので, 評価は3のままとした。大学で身につけた「思考力」は, 職種を問わず社会で役立つものと考えられる。今後も社会生活に対応できるような, 自ら考え実践する力は益々求められていくと思われるので, その力を学生時代に養うことが必要と考える。引き続き, 創造力や企画力など社会に出て生きて働く力を養っていききたい。

(問 16)【実行力】組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに, 他者と協調しながら目標を達成する力は役立っているか。(主体性, 協働力, 傾聴力などを含む)

評価(1~4)	理 由
4(3)	「よくあてはまる」22.7%, 「あてはまる」68.2%で合計 90.9%であったことから評価を4とした。このように回答した卒業生は, 大学で身につけた「実行力」が社会である程度役立っていると考えられる。就職した後の職場では「組織として働く・対応する」機会が多くなる。今後も実習, 研究会などを通して目標を達成するための実行力や組織として活動する機会を多く持つように授業や取組みを増やし, 身につけていく必要があると考える。

(問 17)【表現力】自分の考えを的確に文章或いは口頭で表現する力, 場面にふさわしい言葉遣いやマナー, 振る舞い, コミュニケーション力は役立っているか。(発信力, 日本語力, 外国語力など)

評価(1~4)	理 由
4(3)	「よくあてはまる」31.8%「あてはまる」63.6%で, 評価の合計が 95.4%と過去最高値になっている。近年は, 高い水準を維持しており, 評価は4とした。肯定的に回答した卒業生は, 大学で身につけた「表現力」が社会で役立っていると考えられる。目標を達成するため, 今後も授業や研究会活動などを通じて学生の表現力のさらなる向上を促す必要がある。自由記述欄では「敬語」やあいさつ・マナーに関する意見がみられ, 人間関係形成力や対応力が今後益々重要になってくると考えられる。

(問 18)【情報力】我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は役立っているか。(情報収集分析力, PCスキルなどを含む)

評価(1~4)	理 由
3(3)	<p>「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合は 68.1%であり、半数以上が肯定的評価を示しているものの、80 には達していないので、評価を3のままとした。数値は大きく伸びている。今年度は「あてはまらない」、「ややあてはまらない」の合計は 13.6%であった。また、「どちらでもない」の 18.2%は、去年の 38.5%から大きく下がった。ICT 機器等を用いて情報を収集する力が少しずつ身についていると思われが、今後、社会人として更に必要になるであろう情報力の内容に力を入れていきたい。</p>

汎用力(社会で活躍できる汎用性のある能力)DP 達成度及び前回評価結果からの改善についての総評
<p>思考力, 情報力について評価は3のままであるが数値は上昇し, 実行力, 表現力は評価が4にあがった。全体のポイントからすると昨年度から向上し, 一昨年度に水準に戻ったり, それを超えたりしている。</p> <p>汎用力については社会で活躍できる力を概ね修得できていると考えてもよい。</p> <p>情報力については今後も改善が必要となる。情報力はどの職種にも必要であり, 特に栄養指導やデータの分析, 情報収集など栄養士が身に付けておくべき力である。そのため, 図書や文献の検索方法, PC スキル等を指導していくことが強く求められる。</p> <p>ただ, どの項目でも「どちらともいえない」が少なからずいることから, 卒業生が就職先に関係なく社会で活躍できる能力を習得することができるよう, 引き続き取り組む必要がある。</p>

## 初等教育科「卒業生アンケート」による DP 達成度評価

初等教育科は、本学の定める課程を修了し、「教養」「専門力」「汎用力」の3つの力を身につけたと認められる学生に、短期大学士(教育学)の学位を授与する。学修にあたっては、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、学問を通して真理を探究し、確かな知識を修得することによって、独立した主体的な人間となることを基本的な目標とする。

本年度の調査は、2020年度、2022年度の卒業生を対象として回答数のUPを図ったが、送付数368人のうち回答人数は20.1%の74人であった。昨年度調査の回答人数より6人多く、回収率も4.2%多くなった。依然として回収率は低く、調査の信頼性に課題が残る。確実に、卒業生へ届くように送付する住所等の検討が必要である。

### 1. 教養(人間性の形成に資する幅広い知識・技能) カッコ内の数字は昨年度の評点

(問3)短期大学の教育に必要な知識・技能と思考力・判断力・表現力などの基礎的な教養を身につけ、建学の精神及び教育目的・教育目標等を理解している。

評価(1~4)	理由
4(4)	「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合の合計は90.6%であった。昨年度より9.7%上昇しており、9割ほどの卒業生が理解していることを示しており、基礎的な教養を身につけ建学の精神及び教育目的・教育目標をほぼ達成できていると考える。

(問4)人間の探究や自然の摂理、社会の文化などの基礎的教養を身につけている。

評価(1~4)	理由
3(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合の合計は75.6%であり、昨年度より13.8%上昇しており、昨年度調査より満足度が大きく上がった。評価は80に届いていないため3のままとした。基礎的教養は専門性分野の中でも必要であり、社会の文化やマナーは、人間関係の形成に重要である。引き続き各授業や日々の生活の中で伝えていく必要がある。

(問5)情報処理や外国語などの基本的なリテラシーを身につけている。

評価(1~4)	理由
3(2)	「よくあてはまる」「あてはまる」回答した割合の合計は60.8%であり、昨年度より12.2%上昇して一昨年度にほぼ戻った。コロナ禍以後、保育・教育現場での情報機器の操作や処理能力の必要性が求められ、ICTの活用が加速した背景があったが、対面での生活に戻ったあとも、「保護者との連携」や「働き方改革の一環」としての必要性があがり、活用できる力が求められている。引き続き現実の生活や仕事の多様な場面で、現在の職場環境にあわせてICTを活用できるような教育内容・演習に取り組む必要がある。

(問 6)運動と健康維持・増進などの活動を実践する基本的な技能を身につけている。

評価(1~4)	理 由
3(3)	運動と健康維持・増進活動の実践技能については、「よくあてはまる・あてはまる」の回答が72.9%と昨年度より3%減っている。ただ、「あてはまらない」という回答が2.7%と少なくなった。この分野の実践は、それぞれの園等の方針にもよるところが大きく、学んだことを実践で十分に活かせていないと感じている卒業生もいるようである。実践まで意識させた実践的な学修が求められている。

**教養(人間性の形成に資する幅広い知識, 技能)DP 達成度及び前回評価結果からの改善についての総評**

今回のアンケートでも回答数が十分ではないため、偏りがみられる。しかし、全体的な満足度は高水準を保っている。特に、コロナ禍後からの急激な ICT 利用により情報処理, 基本的なパソコンスキル等は, この設問の回答で集計上は昨年より 12.2%上昇している。これは、「働き方改革」としての取組みや保護者からのニーズにこたえた現れとなっているのではないだろうか。また、小学校以降は、現在求められている「学び方の変化」や「表現力・プレゼン力」に対応するもののツールとして、有効な活用技術等を身に付けさせることができるような実践的で現実的な使用技術の取得を求めている様に考えられる。

ただ、この発問では、「外国語のスキルアップ」への回答かどうかは区別しにくいこともある。

また、この数年毎年声を聞くものとして、「あいさつ・言葉使いなど社会人としてのビジネスマナー・スキル」や「特別な支援を要する子どもへの対応」などについても、現場に出て必要性を感じており、すぐに活用できる実践的な学びに対する要求が自由記載に多くあり、科目のなかでの教育内容の検討と卒業後の継続的な学びの充足も必要であると思われる。

**2. 専門力(専門に関する基本的な知識・技能及び態度) カッコ内の数字は昨年度の評点**

<社会的意義>

教育学のもつ社会的な意義や、教育学を学ぶことによって現代社会の中でどのような役割を担うことが期待されているかを明確に理解している。

<職業生活で評価される能力>

教育学の専門教育を通して、職業生活で評価される能力として、特に教育・保育に対する強い情熱、確かな指導力と総合的な人間力を身につけている。

(問 8)教育・保育に必要な教科・保育内容に関する知識・技能を修得している。

評価(1~4)	理 由
4(4)	卒業生アンケートにおいては 93.2%が「よくあてはまる・あてはまる」と回答しており、昨年とほぼ同じで満足度はかなり高いと言える。保育に必要な情報や知識技能は概ね修得できていると言える。

(問 9)教育・保育の本質や目的, 基礎理論や教職の意義を修得している。

評価(1~4)	理 由
4(4)	卒業生アンケートでは、90.6%が「よくあてはまる」「あてはまる」と回答しており、概ね教育・保育の本質や目的, 基礎理論や教職の意義の修得ができていると判断できる。この4年間ずっと高い数値となっている。ただ、「あてはまらない」「ややあてはまらない」が4%にいたることからさらに改善していきたい。

(問 10)教育・保育の対象である子どもの成長・発達, 保健, 栄養, そして家庭での生活などの知識・技能を修得している。

評価(1~4)	理由
4(4)	子どもの成長・発達, 保健, 栄養, 生活の知識や技能について 91.9%の卒業生が「よくあてはまる・あてはまる」としており, 昨年度を 3 ポイントほど上回っていて, 高水準を保っていて, 概ね知識技術の修得ができていると判断できる。実践的な内容も含めた知識・技能の修得にむけて改善していきたい。

(問 11)教育・保育の指導内容や指導方法に関する知識・技能と思考力・判断力・表現力を修得している。

評価(1~4)	理由
4(4)	「よくあてはまる」「あてはまる」と修得しているとの評価が 91.9%であり, 昨年度調査よりさらに高い肯定的評価で 2 年連続して上昇した。自由記述では, 有意義だった授業に「ピアノ」「障害児保育」「保育内容」「教科の指導法」「情報教育関係」「心理学」等さまざまな科目が役に立っているとの意見があり, 修得に関しての満足度は高い。 特に教育現場では「特性のあるこども」への対応・支援の方法を求めている。一人一人に対する適切な支援の方法は, 一律の座学だけでは対応できないことはわかっているが, 基礎知識や考え方(判断力)は少しでも修得させることが求められている。

(問 12)教育・保育の実際の場合である園・学校及び施設での実習により, 知識・技能と思考力・判断力・表現力の総合的に修得した知識・技能と思考力・判断力・表現力はやくだっているか。

評価(1~4)	理由
4(4)	「よくあてはまる」「あてはまる」が 90.6%であり, 昨年度以上 3 年連続して学生の満足度は上昇している。「教育実習」によって座学と現場の経験が一致して, 充実した学びがあったとの意見も見られた。引き続き, さらに実習前の指導や実習後が一番, 学ぶ意欲が高まっていると考えられるので, 事後指導の充実を図っていきたい。

#### 専門力(専門に関する基本的な知識, 技能)DP 達成度及び前回評価結果からの改善についての総評

専門力に関する取り組みについて, すべてにおいて昨年度とほぼ高い水準で, ほとんどの項目が 3 年連続して上昇している。5つすべてが評価4となったように専門力の修得に関して卒業生の満足実感度が高い。引き続き, 本学の専門力の修得については, 能動的に学ぶことができるような授業を行う学習方法等を取り入れるなど, 主体性を重んじた体験的・実践的な方法を取り入れた授業展開が必要と思われる。自由記述には後輩がさらに実践力をあげられるような前向きな意見が多々あるので, 参考にしたい。

### 3. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力) カッコ内の数字は昨年度の評点

(問 14)【思考力】論理的に考え分析する能力, 常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は役立っているか。

評価(1~4)	理由
---------	----

4(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」が 86.5%であり、昨年度調査の 73.6%から数値が 10 ポイント以上上がった。一昨年 82.2%よりもさらに高くなった。社会に出てからは自ら学ぼうとしたり、自分で課題を見つけ改善したりしようとする自発的な思考力を身につけた人材が求められているため、さらに改善した取り組み行う必要がある。この 3 年ほど「ルーブリック評価」を多くの科目で取り入れているがそのことの効果なのかも検証して、さらに他の科目・授業にも広げていきたい。
------	--

(問 15)【実行力】組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は役立っているか。(主体性, 協働力, 傾聴力などを含む)

評価(1~4)	理 由
4(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」が 79.7%であり、昨年度調査(69.2%)より 10 ポイント上がり、ほぼ 80%(1 名の差はない)ため評価は4とした。働く上で、主体性や他者との協調力が必要であり、教育・保育者としては子どもたちや保護者などの声に耳を傾ける傾聴力が重要である。向上しているので今後も協働的な学修を体験させる取り組みを継続していくことが重要である。

(問 16)【表現力】自分の考えを的確に文章或いは口頭で表現する力、場面にふさわしい言葉遣いやマナー、振る舞いコミュニケーション力は役立っているか。(発信力, 日本語力, 外国語力など)

評価(1~4)	理 由
4(4)	「よくあてはまる」「あてはまる」が 86.5%であり、昨年度調査の 80.9%から上昇した。この数年、高水準になっている。一般の職業においてでももちろんであるが、特に多くの卒業生がついている教育や保育、介護福祉関係の仕事は、コミュニケーションをとることが重要になる職業に就いている。引き続き表現力や豊かなコミュニケーション力を身につけてられるような取り組みを改善しながら続けていく必要がある。

(問 17)【情報力】我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は役立っているか。(情報収集分析力, PCスキルなどを含む)

評価(1~4)	理 由
3(3)	「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した者の割合の合計は、70.3%であり、昨年度調査の 58.8%から 10 ポイント以上上昇した。5 年前は 36%で大きく向上してきているが、汎用力の中ではもっとも低い実態である。レポート課題など与えられたことについては情報を図書やWEB で調べたり、発表したりする際の PC スキルはある程度身につけていると考えられるが、「情報力」の内容にある「国際的な動向に関心を持つ」ことに関し、学生の声から推察すると「目の前の子どもや教育・保育には関心があるが、国際情勢には関心がそこまでない。」と考えていて回答しているのではないかと推察される。在学中よりすべてのことが自分の将来や子どもたちの未来につながっていくという意識をもたせ、幅広い視点で興味関心を持ち、自ら情報収集し、関連づけられる態度や情報収集のスキルの向上について授業で強化していく必要がある。

#### 汎用力(社会で活躍できる汎用性のある能力)DP 達成度及び前回評価結果からの改善についての総評

汎用力の評価は昨年とほぼ同じであるが、すべて回答の数値は上昇している。特に「表現力」は 80 台後半まで伸び、高評価である。ただ、一昨年調査から徐々に向上は見られるものの「情報力」においては他の調査項目の結果も鑑みて、改善に努める必要がある。学生に我が国や国際社会の現在の動向や問題について自分のことや子どもたちに関わることでありといった関心や問題意識をもたせるように意識した授業を行うことや討論するような授業も必要ではないかと考える。問題意識をもたせることで、学修の目的意識が高まり、図書や ICT 機器を用いて情報を収集したり、相手にわかりやすく表現して伝えたりしようとする気持ちを高めることができる。それにともない、その取り組み過程で情報収集力や PC スキルも向上すると考えられる。